

「大分県森林環境税」に関する意識調査
(県民調査)

報 告 書

令和 6 年 11 月

大分県

I. 調査概要

1. 調査目的

平成18年度に5年を一期として導入した大分県森林環境税の制度や、森づくりに対する県民の意識を把握し、今後の県森林環境税を活用した施策や当県の森づくり等に活かすことを目的とする。

2. 調査項目

1) 依頼文

調査の前提として、平成18年度から「大分県森林環境税」を導入していることを説明。今後の税の在り方や用途について、県民の思いや考えを反映する基礎資料として、アンケートを実施することを記載。「大分県森林環境税」の概要パンフレットを同封した。

2) 調査項目

一般項目として

- ・性別
- ・年齢
- ・職種
- ・お住まいの市町村
- ・山林所有の有無

目的調査項目として

- ・森林の現状について
- ・大分県森林環境税の導入について
- ・森林環境税の金額について（個人県民税・法人県民税）
- ・森林環境税を活用した事業について
- ・森林環境税の用途について
- ・今後の継続について
- ・国の森林環境税について

以上について選択式での回答を求めた（一部記述式あり）。

さらに「大分県森林環境税」に関する意見について、自由記述式での回答を求めた。

3. 調査方法

1) 対象者

県内在住の20歳以上の方2,000人。県総人口における各市町村の人口の割合に応じて按分、住民基本台帳より無作為抽出により選定。

2) 調査票の配布・回収

抽出された調査対象者あてにアンケート調査票を8月上旬に発送、同封した封筒により郵送で調査票を回収、またはWebアンケートにより回答を回収。配布から回答締切までの間に未回答の場合の回答を促すはがきをアンケート協力のお礼を兼ね全対象者宛てに発送した。

3) 調査対象の抽出結果

前項の方法により抽出された地域別対象者、回収率は以下の通りである。

抽出数

	20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳～		計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
大分市	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	780
別府市	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	210
中津市	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	150
日田市	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	110
佐伯市	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	110
臼杵市	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
津久見市	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50
竹田市	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50
豊後高田市	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50
杵築市	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50
宇佐市	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	90
豊後大野市	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
由布市	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
国東市	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50
姫島村	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
日出町	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50
九重町	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	30
玖珠町	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	30
計	176	176	168	168	168	168	163	163	163	163	162	162	2000

4. 回収結果

抽出数 2000 件に対し、回収数 787 件、回収率 39.4%

地域別回収率

	抽出数	割合	回収数	回収率
大分市	780	39.0%	335	42.9%
別府市	210	10.5%	83	39.5%
中津市	150	7.5%	54	36.0%
日田市	110	5.5%	42	38.2%
佐伯市	110	5.5%	37	33.6%
臼杵市	60	3.0%	26	43.3%
津久見市	50	2.5%	14	28.0%
竹田市	50	2.5%	13	26.0%
豊後高田市	50	2.5%	18	36.0%
杵築市	50	2.5%	15	30.0%
宇佐市	90	4.5%	28	31.1%
豊後大野市	60	3.0%	18	30.0%
由布市	60	3.0%	27	45.0%
国東市	50	2.5%	31	62.0%
姫島村	10	0.5%	6	60.0%
日出町	50	2.5%	16	32.0%
九重町	30	1.5%	7	23.3%
玖珠町	30	1.5%	15	50.0%
計	2000	100.0%	785	39.3%

※市町村名無回答 2

性別別回収率

	抽出数	回収数	回収率
男性	1000	341	34.1%
女性	1000	430	43.0%

※回答しない、無回答 16

年代別回収率

	抽出数	回収数	回収率
20～29歳	352	85	24.1%
30～39歳	336	114	33.9%
40～49歳	336	134	39.9%
50～59歳	326	135	41.4%
60～69歳	326	161	49.4%
70歳～	324	157	48.5%

※無回答 1

5. 集計方法

回収された各回答を整理し、各設問の単純集計の他に、性別、年齢別、森林所有の有無の集計及び、これらとアンケートの各設問に関しクロス集計を行った。

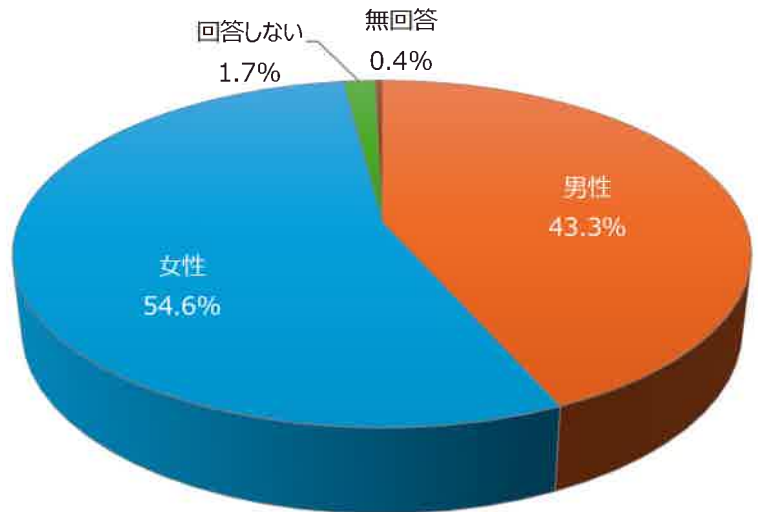
集計結果は回答数（人）及び、小数点第二位を四捨五入し、構成比率（%）で小数点第一位まで表示した。そのため、表示された構成比率の合計が 100%にならない場合がある。

Ⅱ. 調査結果

1.回答者の属性

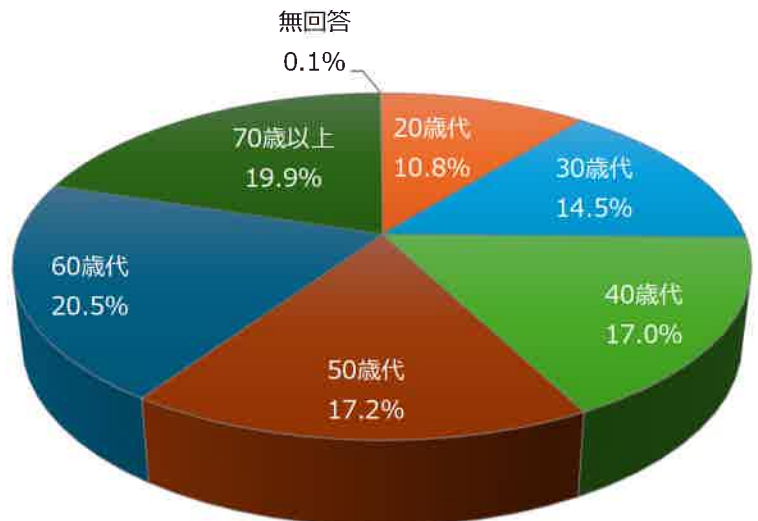
(1)性別

	回答数	割合
男性	341	43.3%
女性	430	54.6%
回答しない	13	1.7%
無回答	3	0.4%
計	787	100.0%



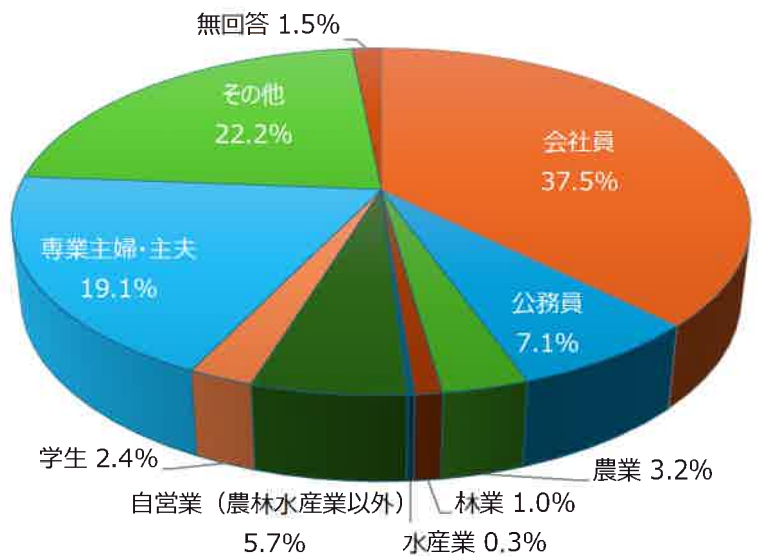
(2)年齢

	回答数	割合
20歳代	85	10.8%
30歳代	114	14.5%
40歳代	134	17.0%
50歳代	135	17.2%
60歳代	161	20.5%
70歳以上	157	19.9%
無回答	1	0.1%
計	787	100.0%



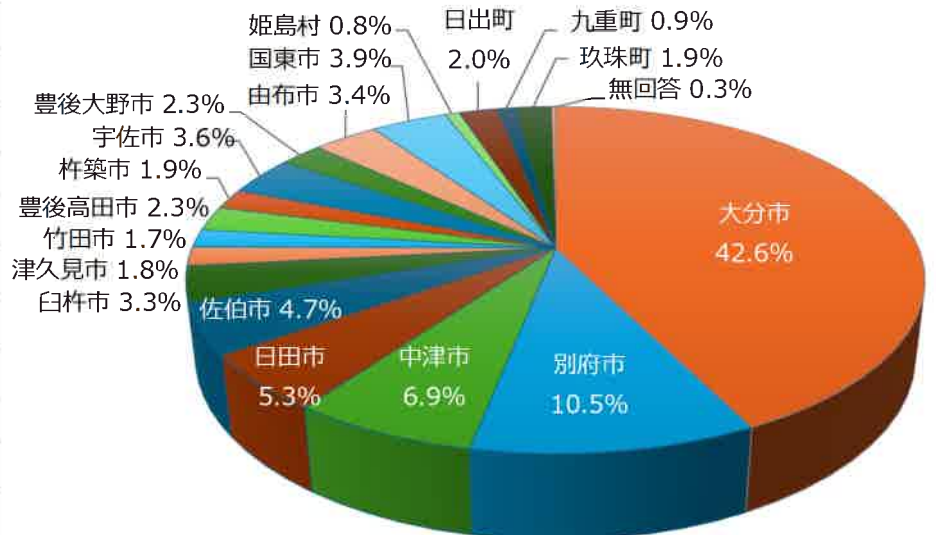
(3)職種

	回答数	割合
会社員	295	37.5%
公務員	56	7.1%
農業	25	3.2%
林業	8	1.0%
水産業	2	0.3%
自営業(農林水産業以外)	45	5.7%
学生	19	2.4%
専業主婦・主夫	150	19.1%
その他	175	22.2%
無回答	12	1.5%
計	787	100.0%



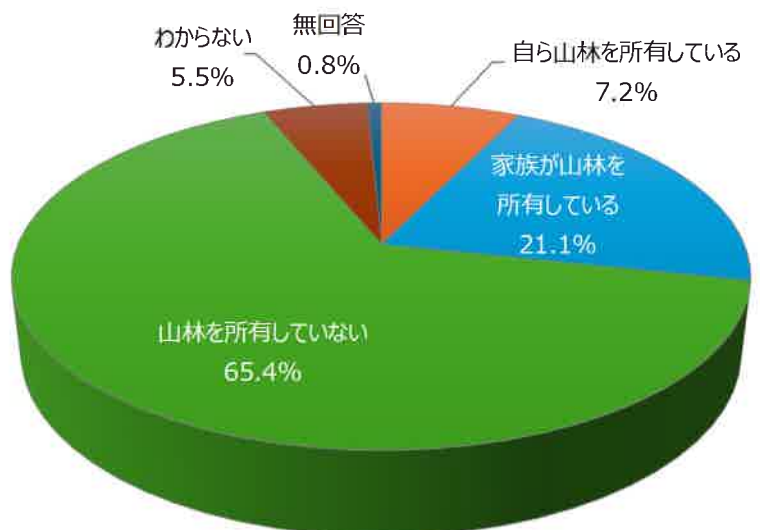
(4)居住地

	回答数	割合
大分市	335	42.6%
別府市	83	10.5%
中津市	54	6.9%
日田市	42	5.3%
佐伯市	37	4.7%
臼杵市	26	3.3%
津久見市	14	1.8%
竹田市	13	1.7%
豊後高田市	18	2.3%
杵築市	15	1.9%
豊後大野市	18	2.3%
宇佐市	28	3.6%
豊後大野市	18	2.3%
由布市	27	3.4%
国東市	31	3.9%
姫島村	6	0.8%
日出町	16	2.0%
九重町	7	0.9%
玖珠町	15	1.9%
無回答	2	0.3%
計	787	100.0%



(5)山林所有状況

	回答数	割合
自ら山林を所有している	57	7.2%
家族が山林を所有している	166	21.1%
山林を所有していない	515	65.4%
わからない	43	5.5%
無回答	6	0.8%
計	787	100.0%



2.全体集計

問1

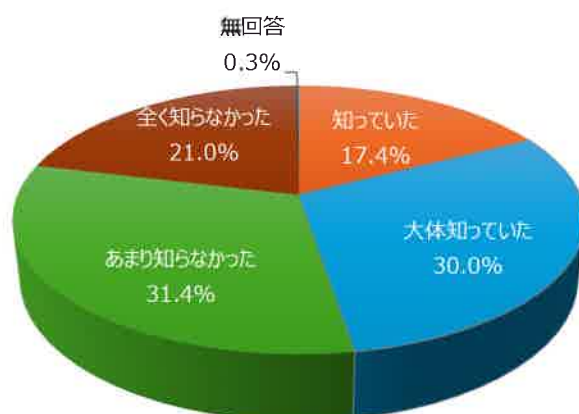
大分県内の森林の一部では、森林の手入れ不足により、森林の水源かん養(雨水を蓄え、少しずつ流れ出すことで、洪水や渇水を緩和し、水質を浄化すること)、土砂流出や山腹崩壊の防止など、森林の持つ公益的機能(私たちの社会全体に有益な影響を及ぼす機能)が低下している事例があります。こうした森林の現状をご存じでしたか？

森林の現状については、知らなかった人の方が若干多い。

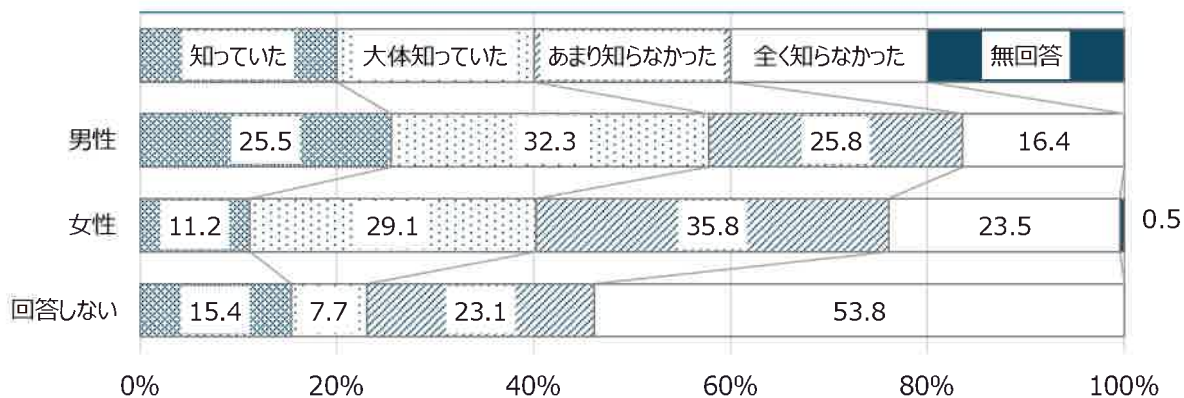
- ・ 現状については「知っていた」と「大体知っていた」が合せて 47.4%、「あまり知らなかった」と「全く知らなかった」が合せて 52.4%。
- ・ 男性は「知っていた」、「大体知っていた」が合せて 57.8%に対し、女性は 40.2%で、男性の方が森林の現状についての認識が高い。
- ・ 年代別では 70 歳以上が 65.0%が知っていた（大体知っていたを含む）と最も多く、年代が下がるにつれて「全く知らなかった」割合が高くなる。

単位:%

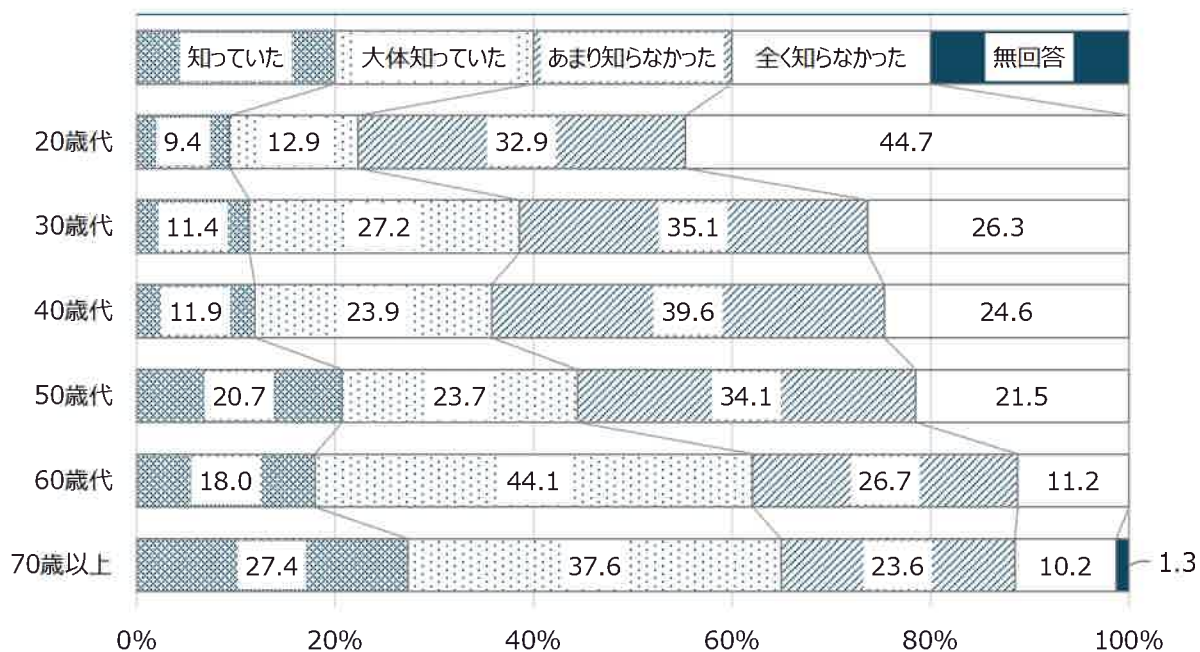
		サンプル数	知っていた	大体知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった	無回答
全体		787	17.4	30.0	31.4	21.0	0.3
性別	男性	341	25.5	32.3	25.8	16.4	0.0
	女性	430	11.2	29.1	35.8	23.5	0.5
	回答しない	13	15.4	7.7	23.1	53.8	0.0
年齢	20 歳代	85	9.4	12.9	32.9	44.7	0.0
	30 歳代	114	11.4	27.2	35.1	26.3	0.0
	40 歳代	134	11.9	23.9	39.6	24.6	0.0
	50 歳代	135	20.7	23.7	34.1	21.5	0.0
	60 歳代	161	18.0	44.1	26.7	11.2	0.0
	70 歳以上	157	27.4	37.6	23.6	10.2	1.3
山林 所有状況	自ら所有している	57	33.3	42.1	12.3	12.3	0.0
	家族が所有している	166	19.3	36.1	30.1	13.9	0.6
	所有していない	515	15.5	28.3	33.4	22.7	0.0
	わからない	43	9.3	11.6	41.9	37.2	0.0



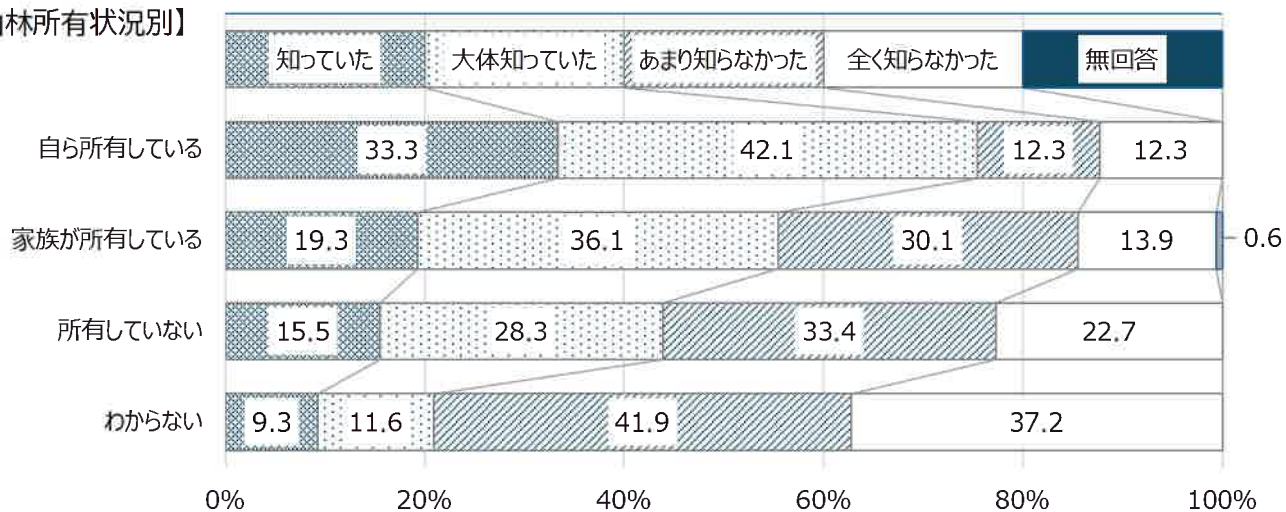
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問 2

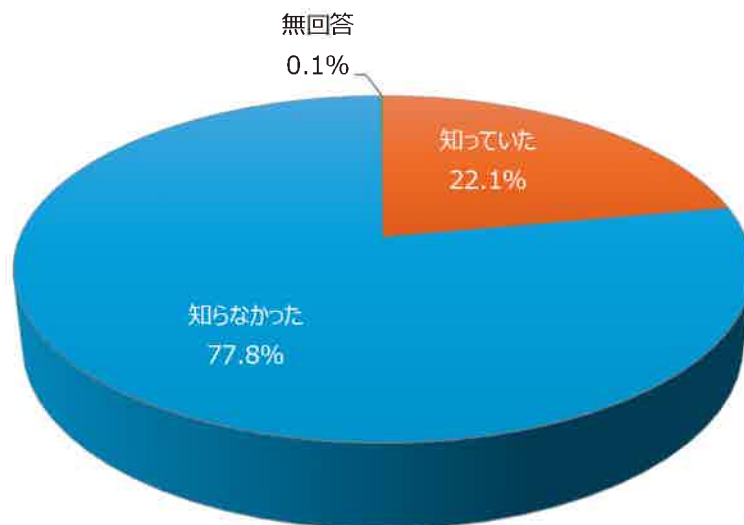
大分県では、平成18年度から森林環境税を導入していることをご存じでしたか？

大分県の森林環境税の導入については、知っていたのは22%、若い世代ほど認知度が低い。

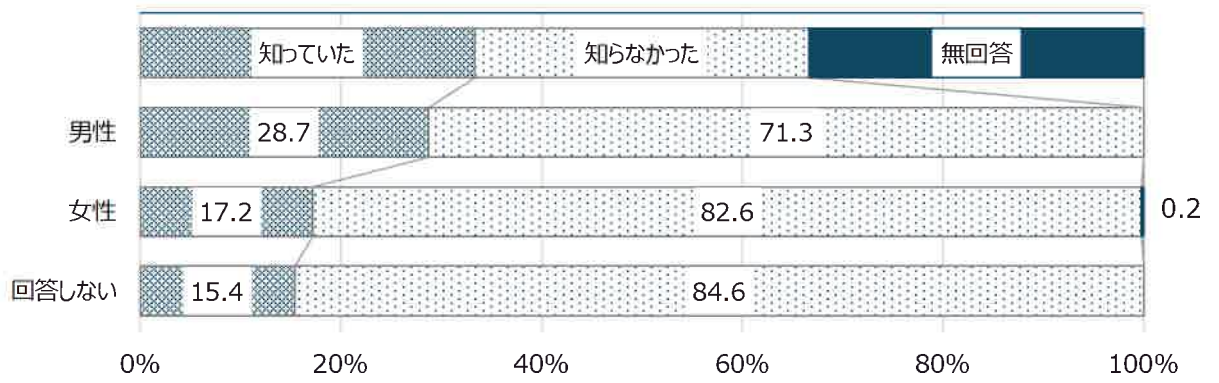
- ・ 男性は「知っていた」が28.7%に対し、女性は17.2%に留まる。
- ・ 年代別では70歳以上は29.3%が知っていたが、20代は7.1%。
- ・ 山林の所有状況別でも、自ら所有している人でも70.2%は知らない。

単位:%

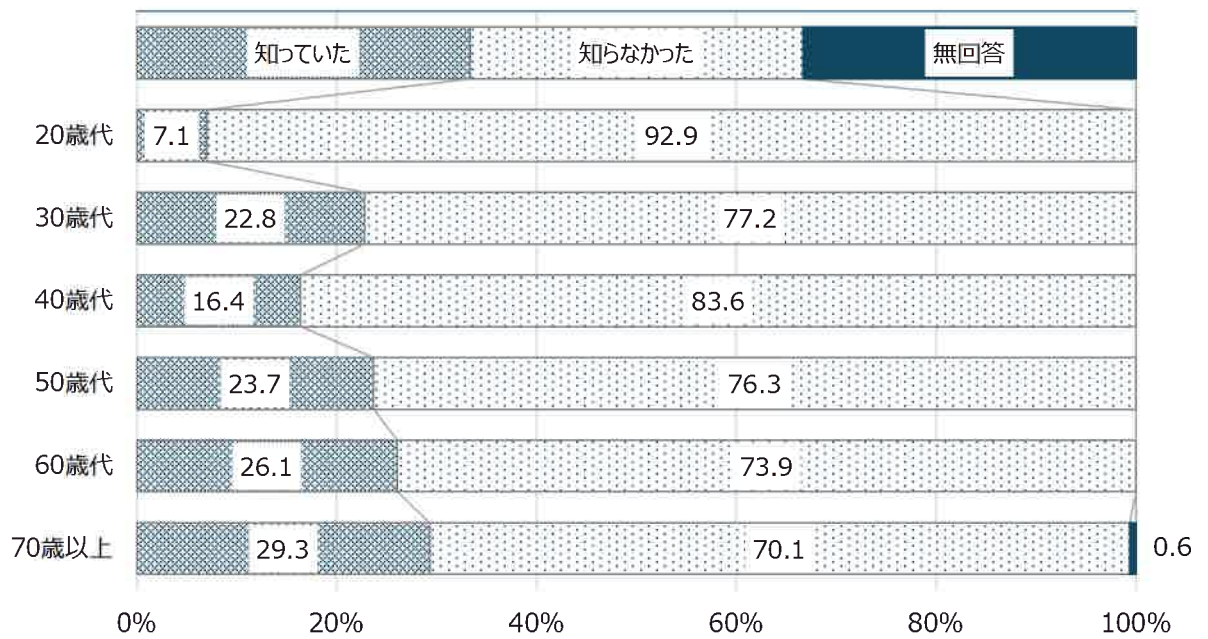
		サンプル数	知っていた	知らなかった	無回答
全体		787	22.1	77.8	0.1
性別	男性	341	28.7	71.3	0.0
	女性	430	17.2	82.6	0.2
	回答しない	13	15.4	84.6	0.0
年齢	20歳代	85	7.1	92.9	0.0
	30歳代	114	22.8	77.2	0.0
	40歳代	134	16.4	83.6	0.0
	50歳代	135	23.7	76.3	0.0
	60歳代	161	26.1	73.9	0.0
	70歳以上	157	29.3	70.1	0.6
山林 所有状況	自ら所有している	57	29.8	70.2	0.0
	家族が所有している	166	27.1	72.3	0.6
	所有していない	515	21.2	78.8	0.0
	わからない	43	2.3	97.7	0.0



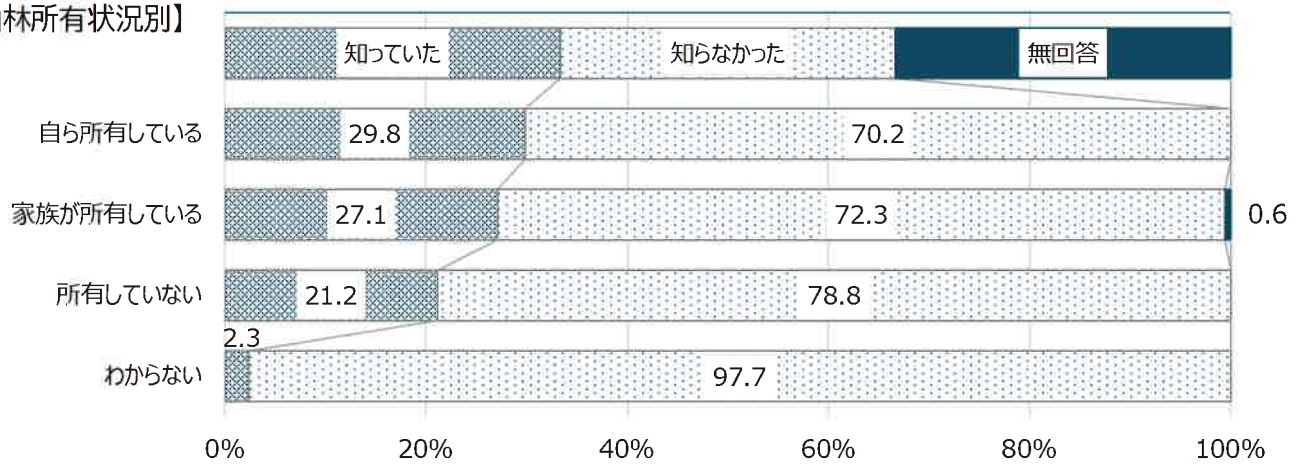
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問 3

問2で①「知っていた」とお答えいただいた方について、大分県森林環境税を、何でお知りになりましたか？

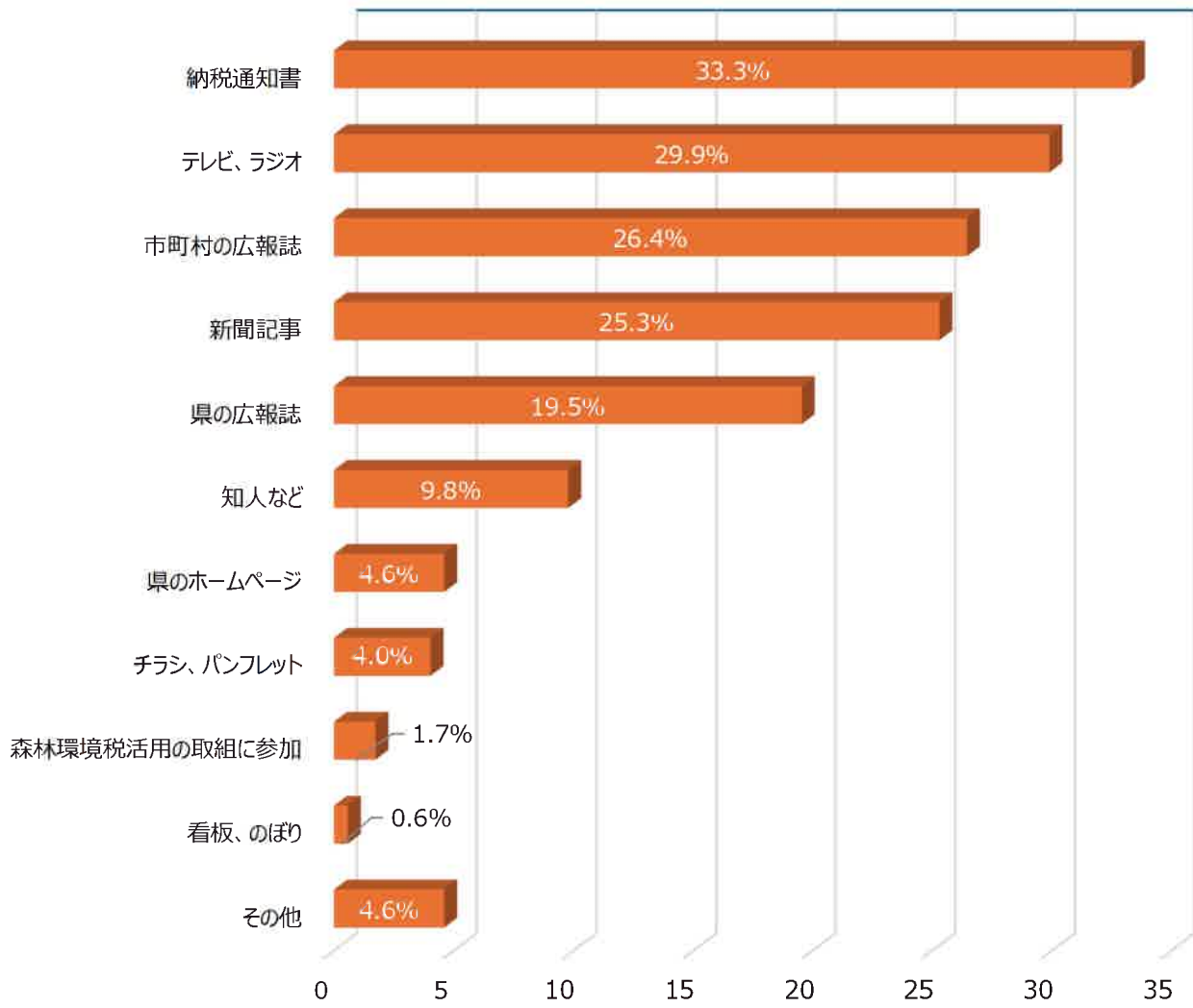
(複数回答可)

県森林環境税の導入については、「納税通知書」により知った人が多い。

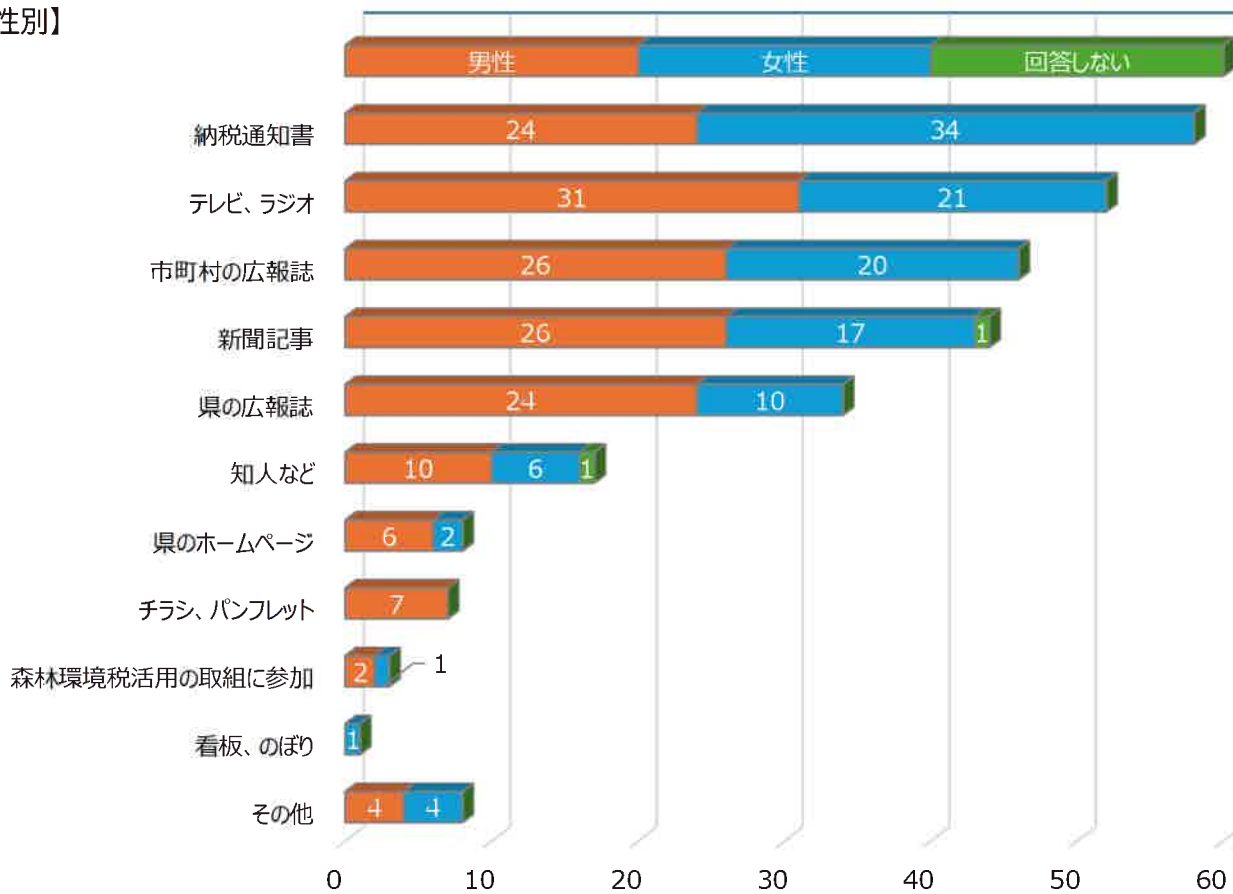
- ・ 県森林環境税については、「納税通知書」により知ったのが最も多く、33.3%、ついで「テレビ、ラジオ」29.9%、「市町村の広報誌」26.4%、「新聞記事」25.3%と続く。「看板、のぼり」は0.6%。

単位:%

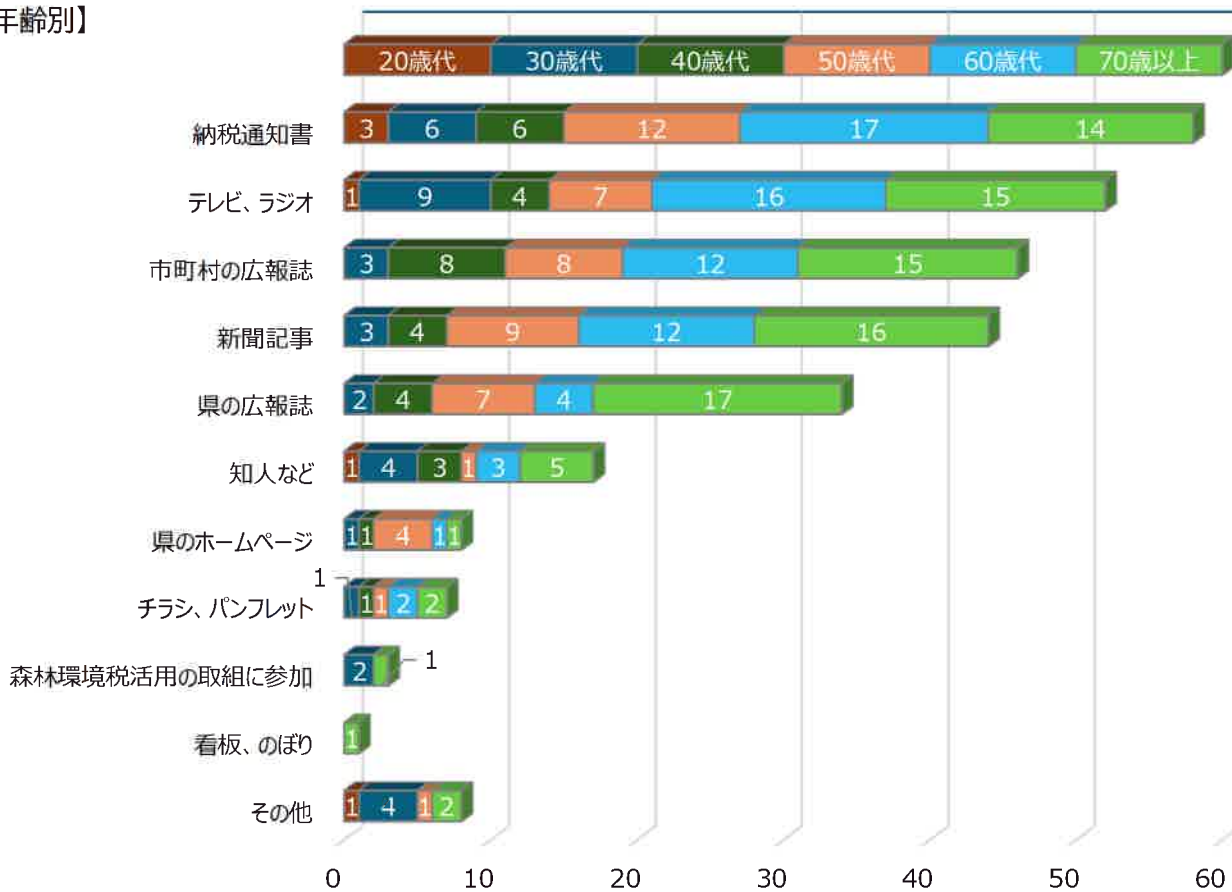
	サンプル数	納税通知書	テレビ、ラジオ	市町村の広報誌	新聞記事	県の広報誌	知人など	県のホームページ	チラシ、パンフレット	森林環境税活用取組に参加	看板、のぼり	その他	
全体	174	33.3	29.9	26.4	25.3	19.5	9.8	4.6	4.0	1.7	0.6	4.6	
性別	男性	98	24.5	31.6	26.5	26.5	24.5	10.2	6.1	7.1	2.0	0.0	4.1
	女性	74	45.9	28.4	27.0	23.0	13.5	8.1	2.7	0.0	1.4	1.4	5.4
	回答しない	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	6	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	30歳代	26	23.1	34.6	11.5	11.5	7.7	15.4	3.8	3.8	7.7	0.0	15.4
	40歳代	22	27.3	18.2	36.4	18.2	18.2	13.6	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0
	50歳代	32	37.5	21.9	25.0	28.1	21.9	3.1	12.5	3.1	0.0	0.0	3.1
	60歳代	42	40.5	38.1	28.6	28.6	9.5	7.1	2.4	4.8	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	46	30.4	32.6	32.6	34.8	37.0	10.9	2.2	4.3	2.2	2.2	4.3
山林 所有状況	自ら所有している	17	17.6	35.3	29.4	23.5	41.2	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0
	家族が所有している	45	42.2	31.1	31.1	24.4	24.4	4.4	4.4	2.2	4.4	0.0	8.9
	所有していない	109	32.1	29.4	23.9	25.7	14.7	12.8	4.6	4.6	0.9	0.9	3.7
	わからない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



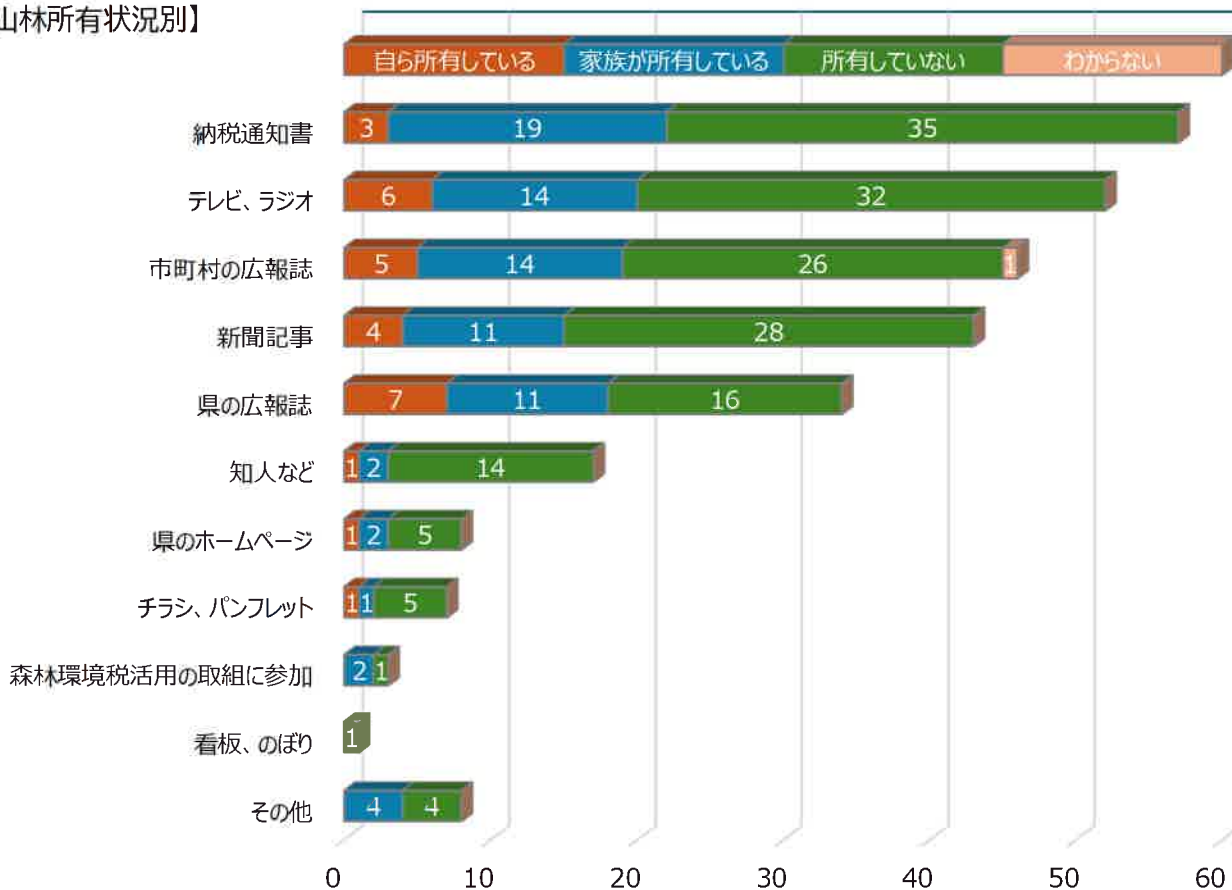
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問 4-①

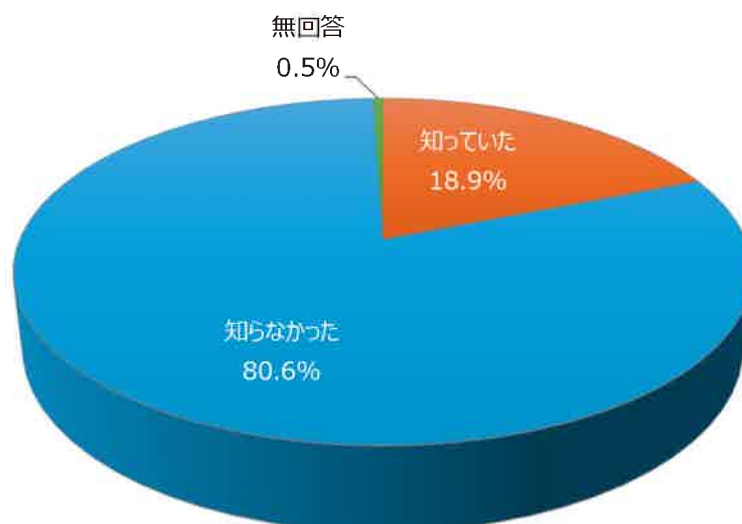
大分県森林環境税として、個人から年間500円(個人県民税均等割額に加算)納めていただいていることをご存じでしたか？

県森林環境税の個人県民税加算については、80%超が知らなかった。

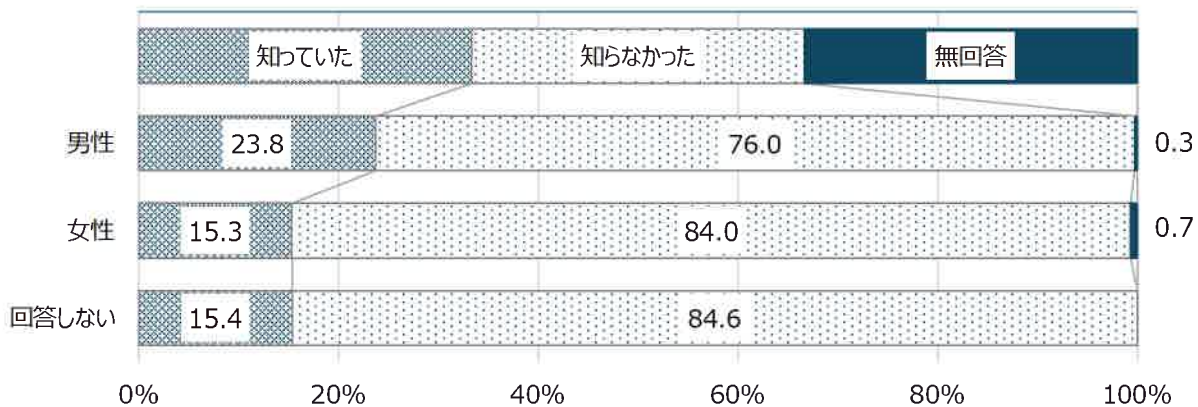
- ・ 県森林環境税の個人県民税加算については、80.6%の人が「知らなかった」と回答。
- ・ 年代別では20歳代は知らなかった割合が最も高く、90.6%であった。
- ・ 山林所有状況でも、所有有無に関わらず、約80%が知らなかった。

単位:%

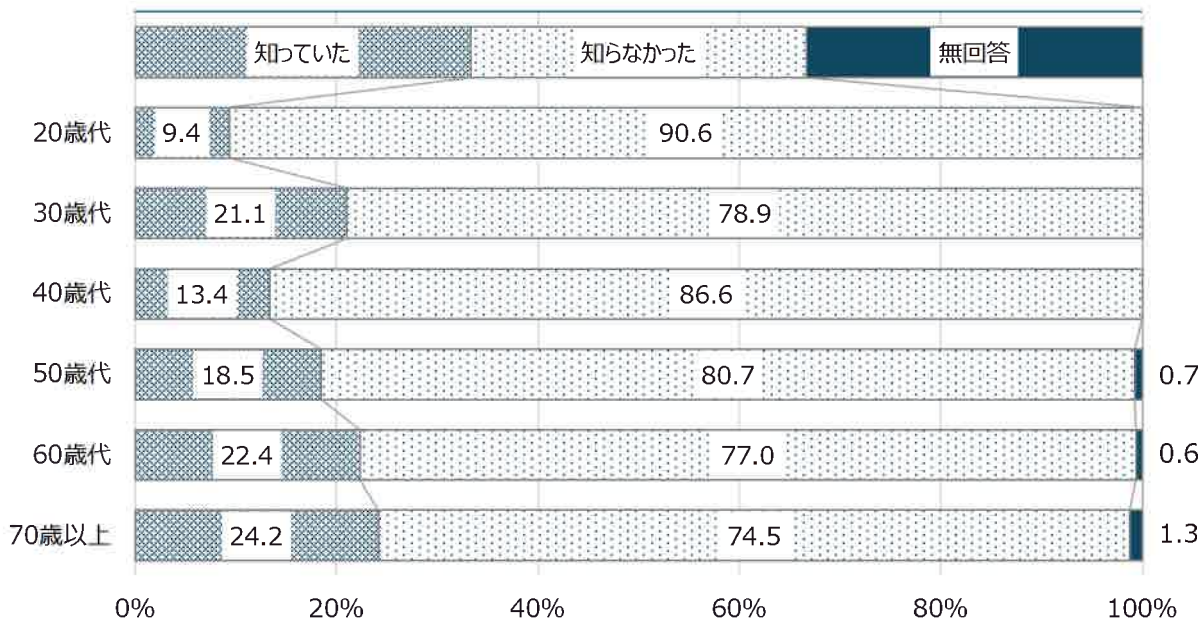
		サンプル数	知っていた	知らなかった	無回答
全体		787	18.9	80.6	0.5
性別	男性	341	23.8	76.0	0.3
	女性	430	15.3	84.0	0.7
	回答しない	13	15.4	84.6	0.0
年齢	20歳代	85	9.4	90.6	0.0
	30歳代	114	21.1	78.9	0.0
	40歳代	134	13.4	86.6	0.0
	50歳代	135	18.5	80.7	0.7
	60歳代	161	22.4	77.0	0.6
	70歳以上	157	24.2	74.5	1.3
山林 所有状況	自ら所有している	57	21.1	78.9	0.0
	家族が所有している	166	20.5	78.9	0.6
	所有していない	515	19.4	80.0	0.6
	わからない	43	2.3	97.7	0.0



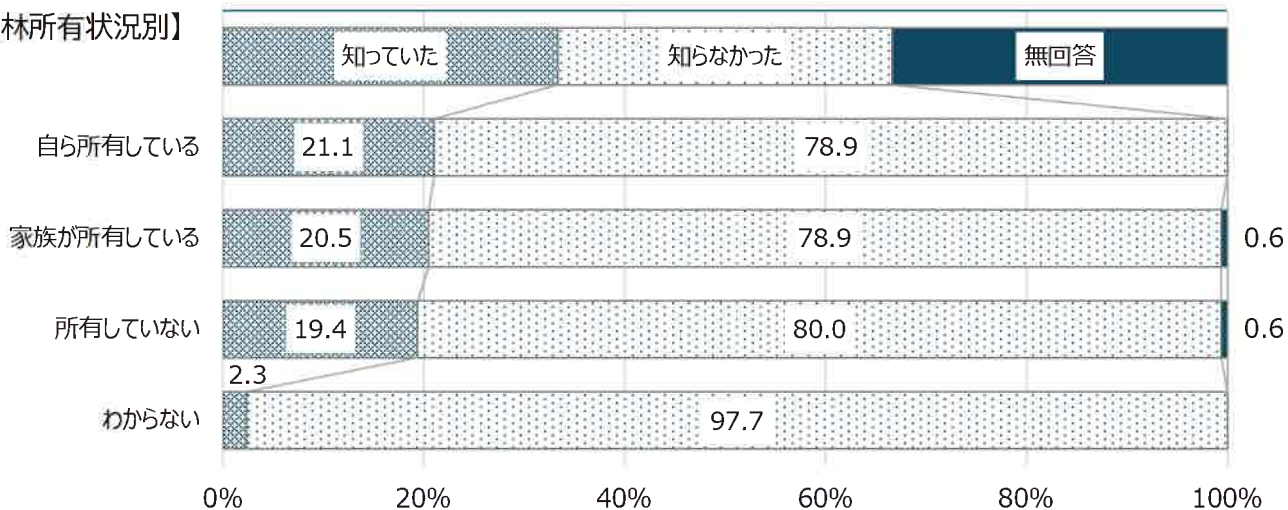
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問4-②

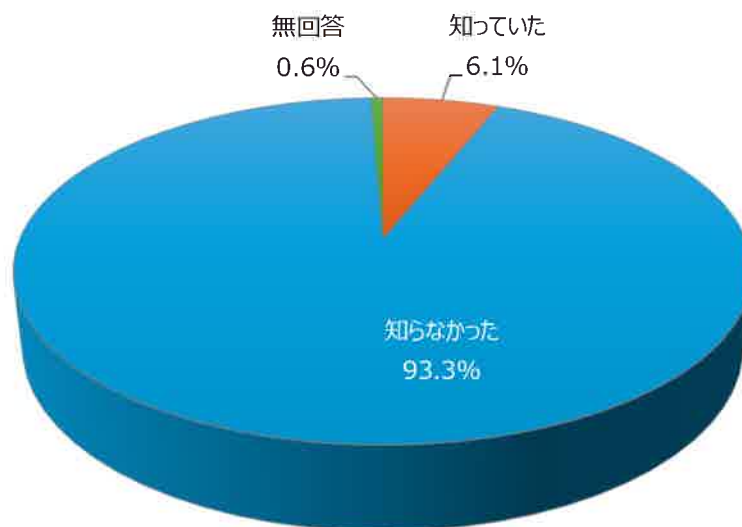
大分県森林環境税として、法人(企業)から法人県民税の5%(年間1,000円~40,000円)を納めていただいていることをご存じでしたか？

県森林環境税の法人県民税加算については、90%超が知らなかった。

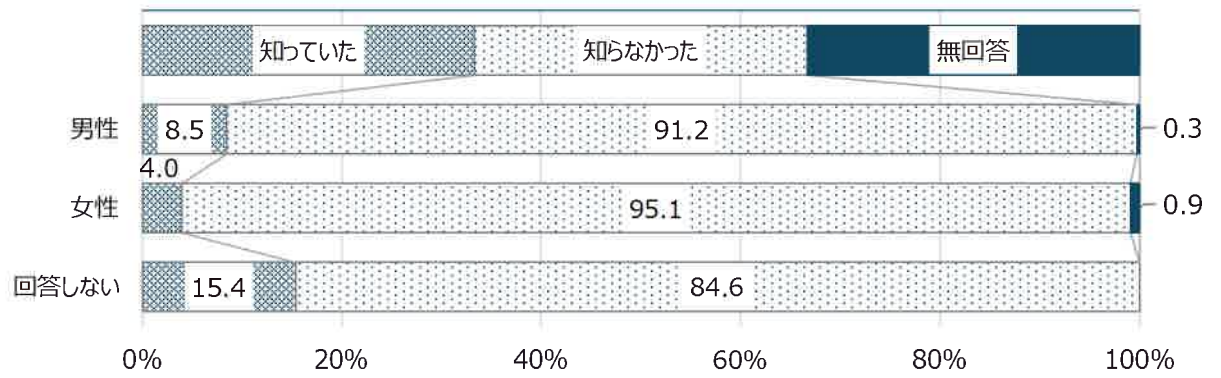
- ・ 県森林環境税の法人県民税加算については、93.3%の人「知らなかった」と回答、個人県民税よりさらにその比率が高い。

単位:%

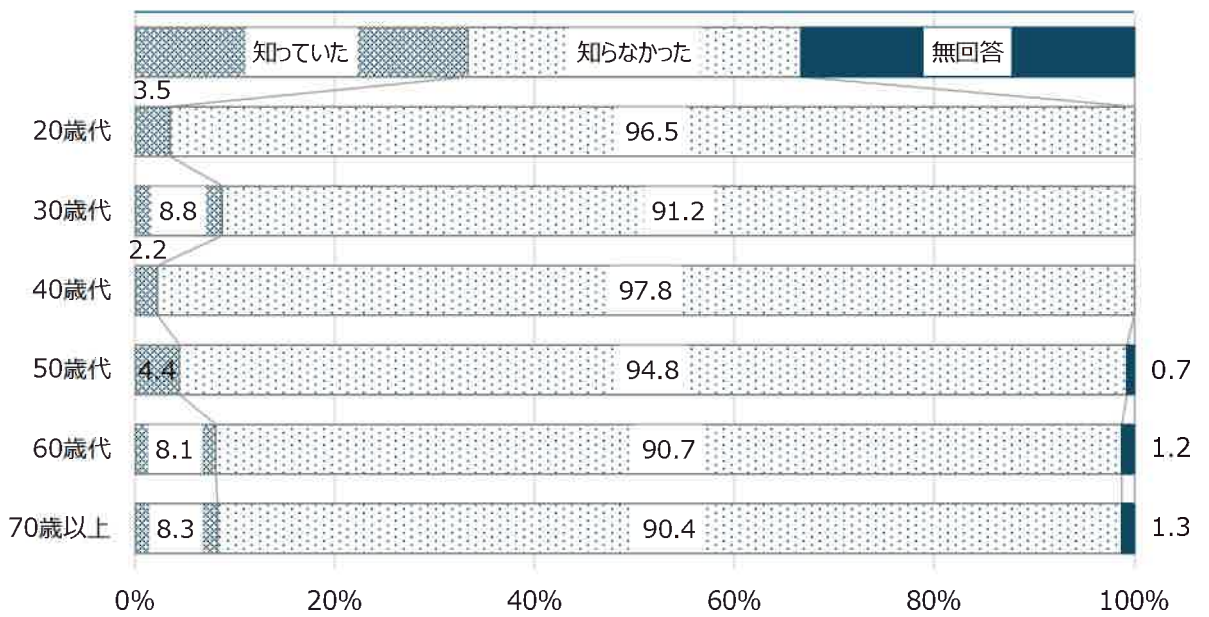
		サンプル数	知っていた	知らなかった	無回答
全体		787	6.1	93.3	0.6
性別	男性	341	8.5	91.2	0.3
	女性	430	4.0	95.1	0.9
	回答しない	13	15.4	84.6	0.0
年齢	20歳代	85	3.5	96.5	0.0
	30歳代	114	8.8	91.2	0.0
	40歳代	134	2.2	97.8	0.0
	50歳代	135	4.4	94.8	0.7
	60歳代	161	8.1	90.7	1.2
	70歳以上	157	8.3	90.4	1.3
山林 所有状況	自ら所有している	57	7.0	91.2	1.8
	家族が所有している	166	7.2	92.2	0.6
	所有していない	515	5.8	93.8	0.4
	わからない	43	2.3	97.7	0.0



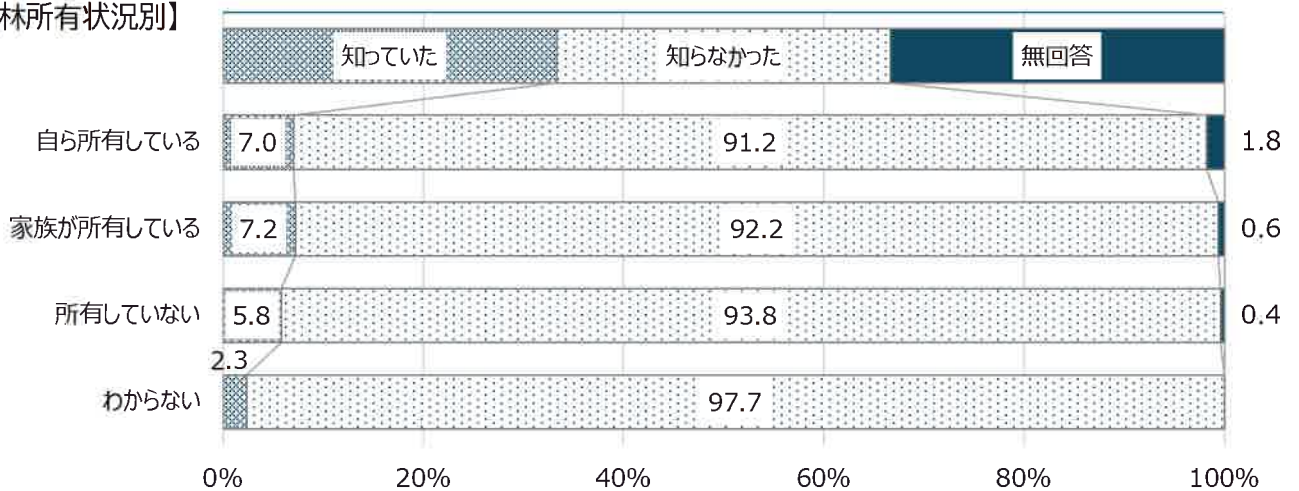
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問 5-①

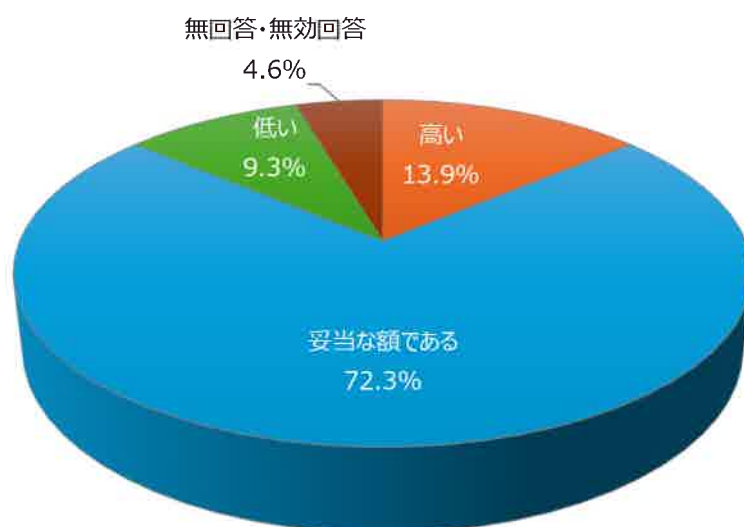
大分県森林環境税のうち、個人からの年間500円についてどのように感じますか？

県森林環境税の個人からの金額については、高いと感じている人は13.9%に留まる。

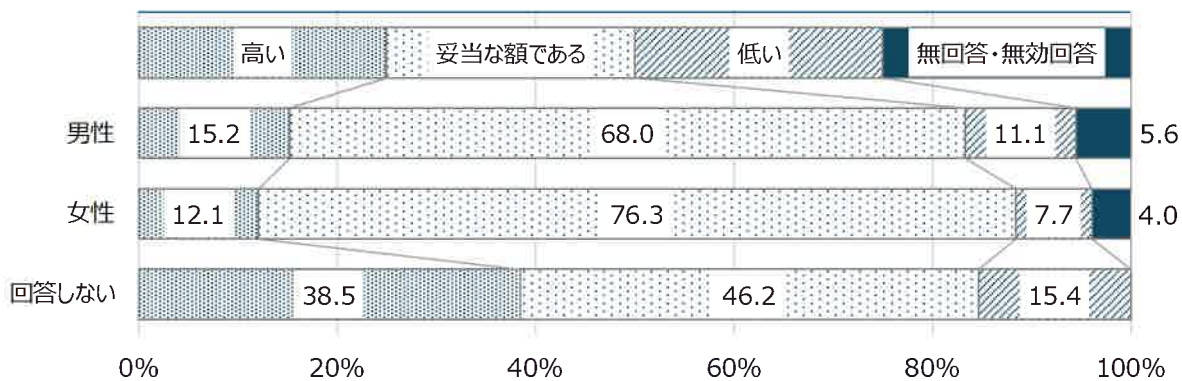
- ・ 「妥当な額である」が、72.3%、「低い」と感じている」も9.3%あり、概ね妥当と感じられている。
- ・ 年代別では、「高い」と感じるのは70歳以上は7.4%、60歳以上は11.8%だが、20歳代にとっては20.0%と他世代にくらべ高くなっている。

単位:%

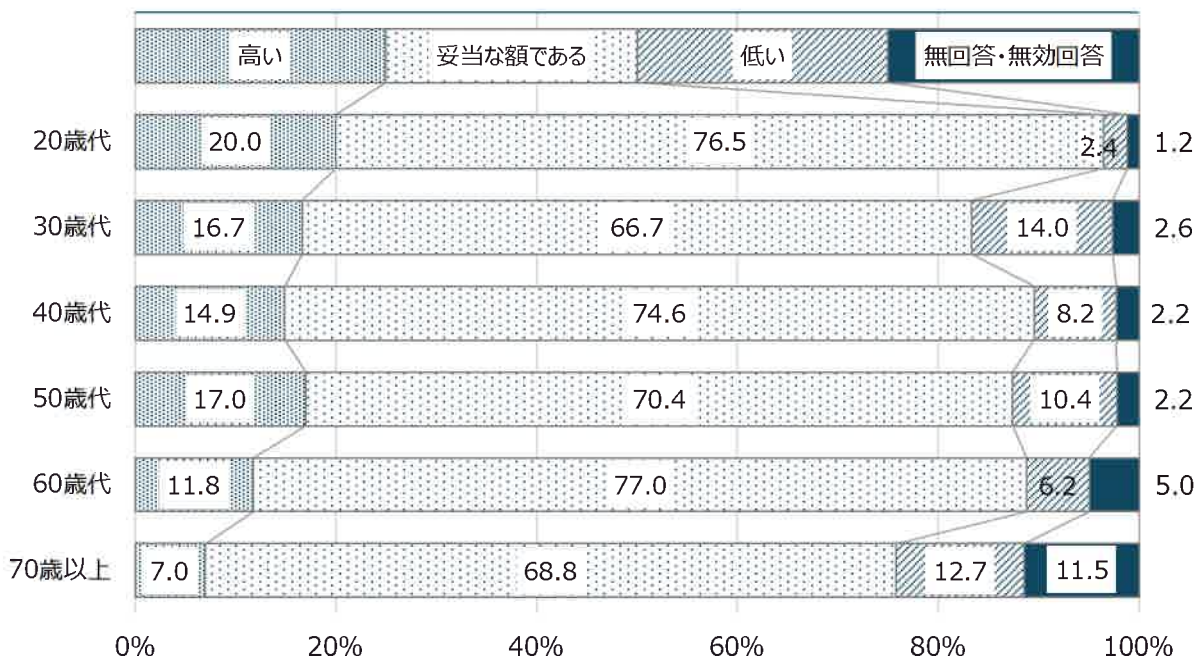
		サンプル数	高い	妥当な額である	低い	無回答・無効回答
全体		787	13.9	72.3	9.3	4.6
性別	男性	341	15.2	68.0	11.1	5.6
	女性	430	12.1	76.3	7.7	4.0
	回答しない	13	38.5	46.2	15.4	0.0
年齢	20歳代	85	20.0	76.5	2.4	1.2
	30歳代	114	16.7	66.7	14.0	2.6
	40歳代	134	14.9	74.6	8.2	2.2
	50歳代	135	17.0	70.4	10.4	2.2
	60歳代	161	11.8	77.0	6.2	5.0
	70歳以上	157	7.0	68.8	12.7	11.5
山林 所有状況	自ら所有している	57	14.0	66.7	15.8	3.5
	家族が所有している	166	11.4	75.3	8.4	4.8
	所有していない	515	14.8	72.0	9.1	4.1
	わからない	43	14.0	74.4	4.7	7.0



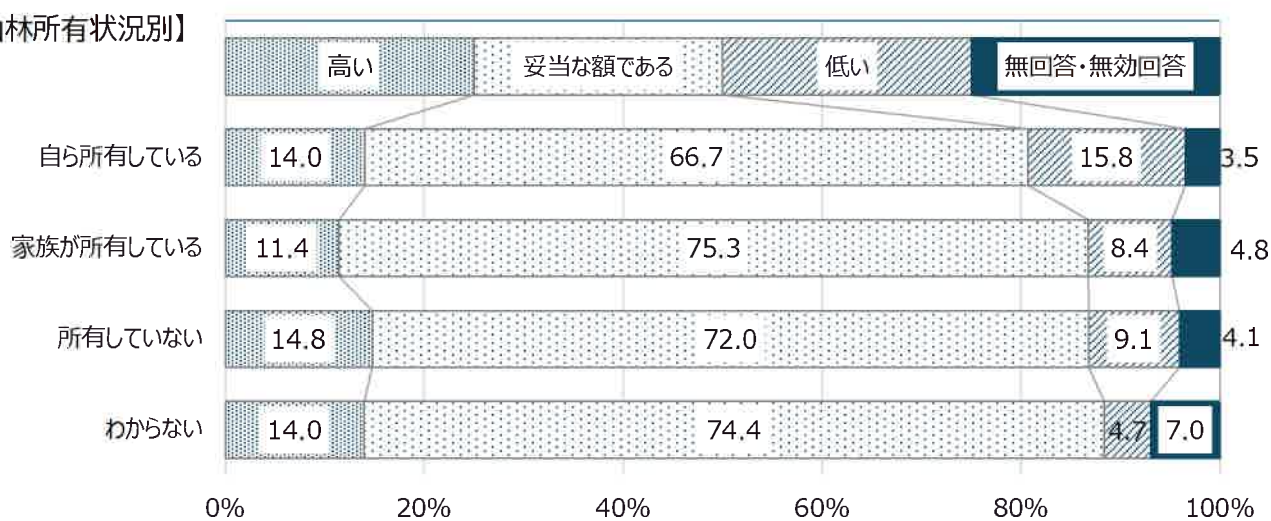
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問 5-②

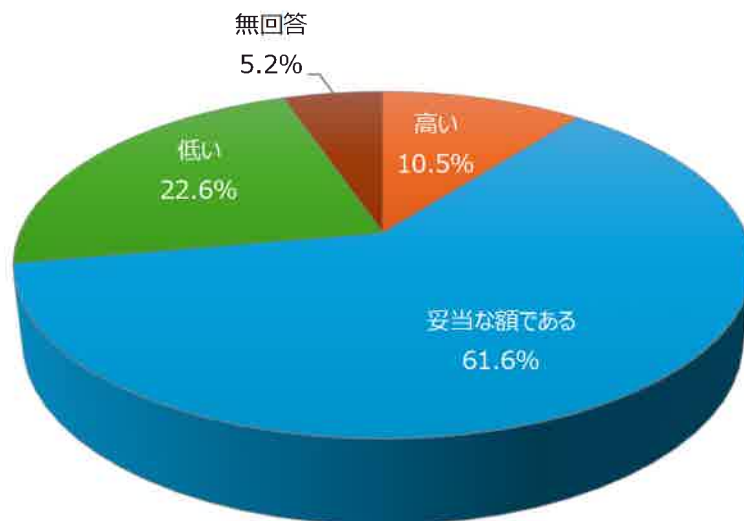
大分県森林環境税のうち、法人(企業)からの年間1,000円～40,000円についてどのように感じますか？

県森林環境税の法人からの金額については、「低い」と感じる人も 20%超。

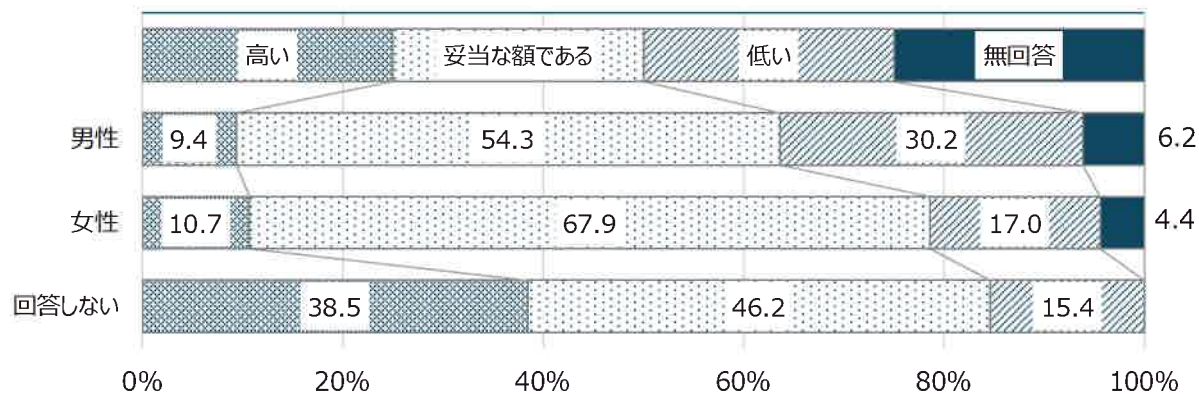
- ・ 「高い」と感じるのは 10.5%で、個人よりも少なく、一方「低い」は 22.6%と個人よりも多くなり、法人からの徴収については、より肯定的。
- ・ 山林の所有状況別では、自ら所有している人は、企業からの金額を「低い」と感じる人が 40.4%いる。

単位:%

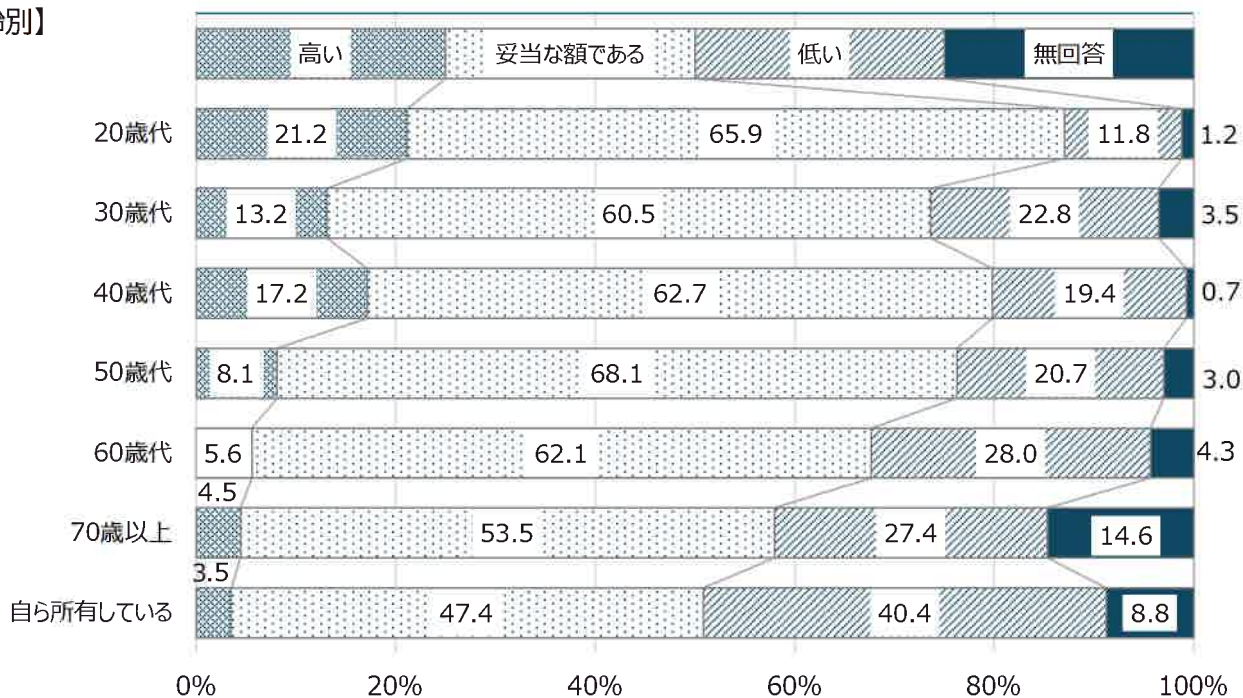
		サンプル数	高い	妥当な額である	低い	無回答
全体		787	10.5	61.6	22.6	5.2
性別	男性	341	9.4	54.3	30.2	6.2
	女性	430	10.7	67.9	17.0	4.4
	回答しない	13	38.5	46.2	15.4	0.0
年齢	20歳代	85	21.2	65.9	11.8	1.2
	30歳代	114	13.2	60.5	22.8	3.5
	40歳代	134	17.2	62.7	19.4	0.7
	50歳代	135	8.1	68.1	20.7	3.0
	60歳代	161	5.6	62.1	28.0	4.3
	70歳以上	157	4.5	53.5	27.4	14.6
山林 所有状況	自ら所有している	57	3.5	47.4	40.4	8.8
	家族が所有している	166	7.2	68.7	18.1	6.0
	所有していない	515	12.0	62.1	22.1	3.7
	わからない	43	16.3	55.8	20.9	7.0



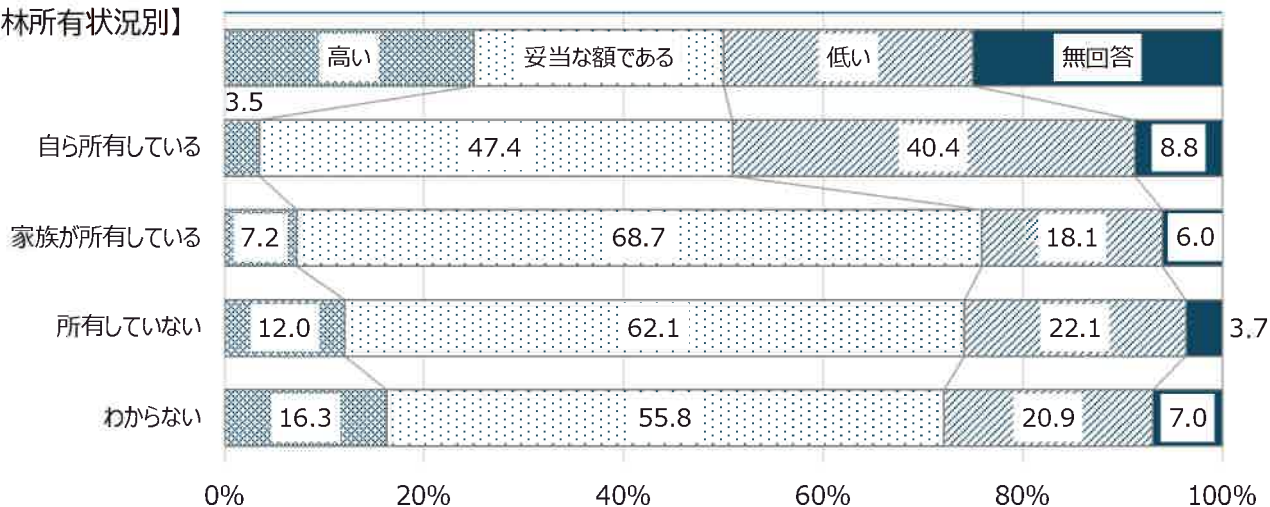
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問 6

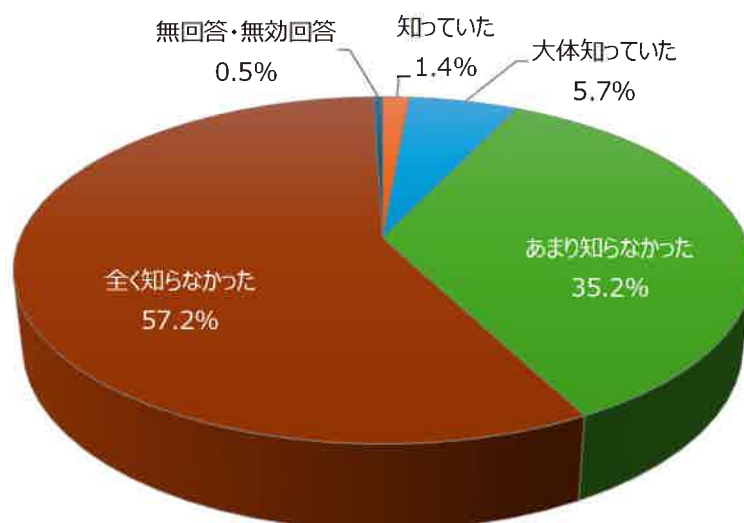
大分県森林環境税を活用した事業をご存じでしたか？

県森林環境税を活用した事業についても、「知らなかった」が 90%超。

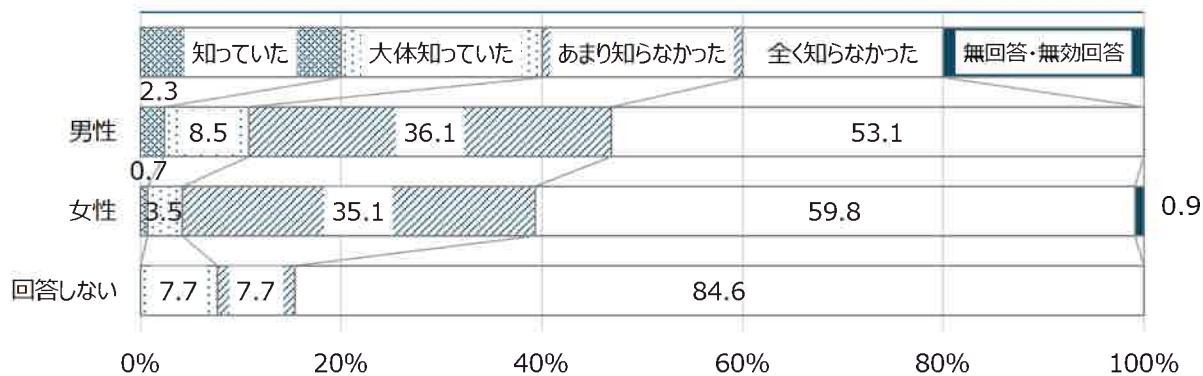
- ・ 県森林環境税を活用した事業については「あまり知らなかった」と「全く知らなかった」を合わせると 92.4%。「全く知らなかった」も 57.2%と半数を超える。
- ・ 年代別で見ると、20 代は「知っていた」と「大体知っていた」を合わせても、2.4%。

単位：%

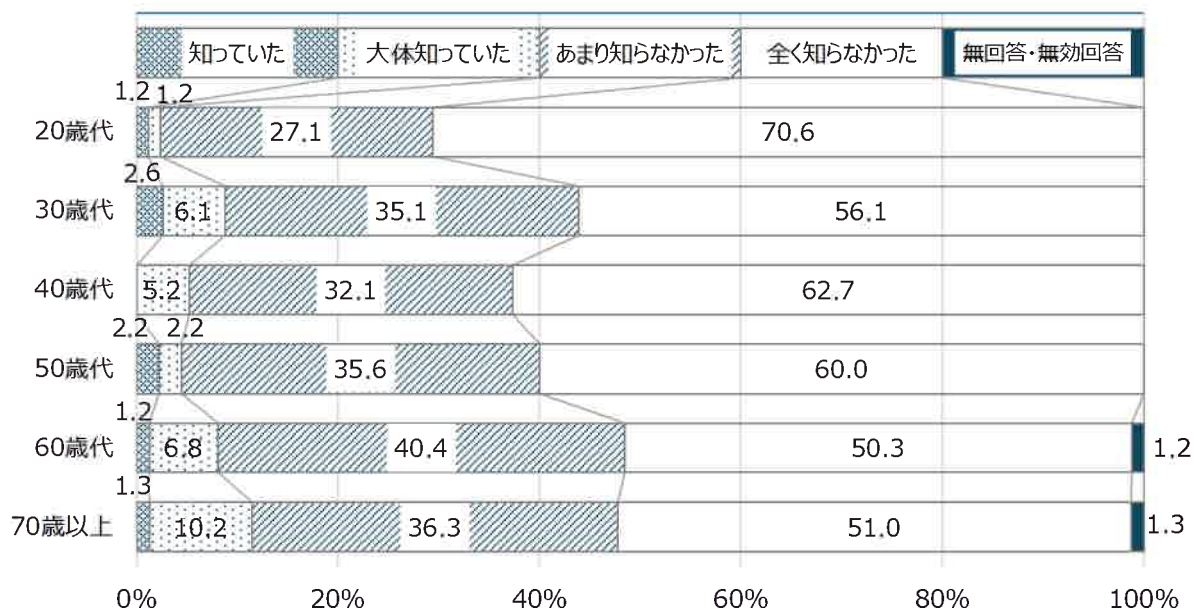
		サンプル数	知っていた	大体知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった	無回答・無効回答
全体		787	1.4	5.7	35.2	57.2	0.5
性別	男性	341	2.3	8.5	36.1	53.1	0.0
	女性	430	0.7	3.5	35.1	59.8	0.9
	回答しない	13	0.0	7.7	7.7	84.6	0.0
年齢	20 歳代	85	1.2	1.2	27.1	70.6	0.0
	30 歳代	114	2.6	6.1	35.1	56.1	0.0
	40 歳代	134	0.0	5.2	32.1	62.7	0.0
	50 歳代	135	2.2	2.2	35.6	60.0	0.0
	60 歳代	161	1.2	6.8	40.4	50.3	1.2
	70 歳以上	157	1.3	10.2	36.3	51.0	1.3
山林 所有状況	自ら所有している	57	5.3	5.3	42.1	43.9	3.5
	家族が所有している	166	2.4	7.2	34.3	55.4	0.6
	所有していない	515	0.6	5.2	35.9	58.1	0.2
	わからない	43	0.0	4.7	20.9	74.4	0.0



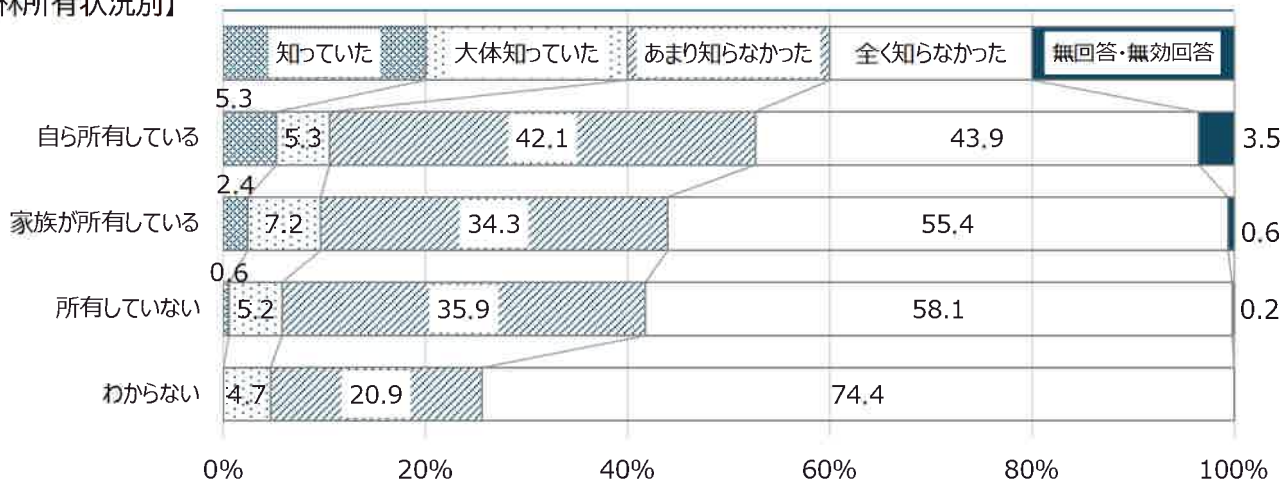
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問 7

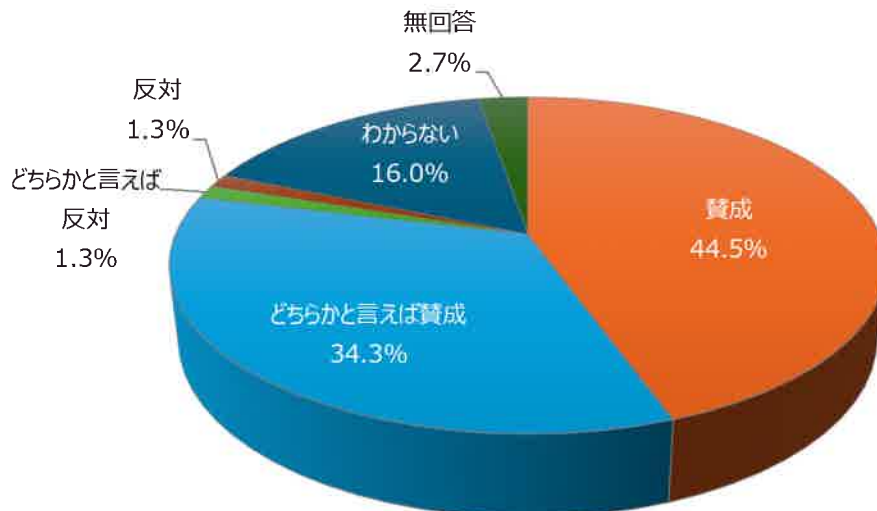
大分県森林環境税を活用した事業について、どのようにお考えですか？

県森林環境税を活用した事業については、80%弱が取組に賛成。

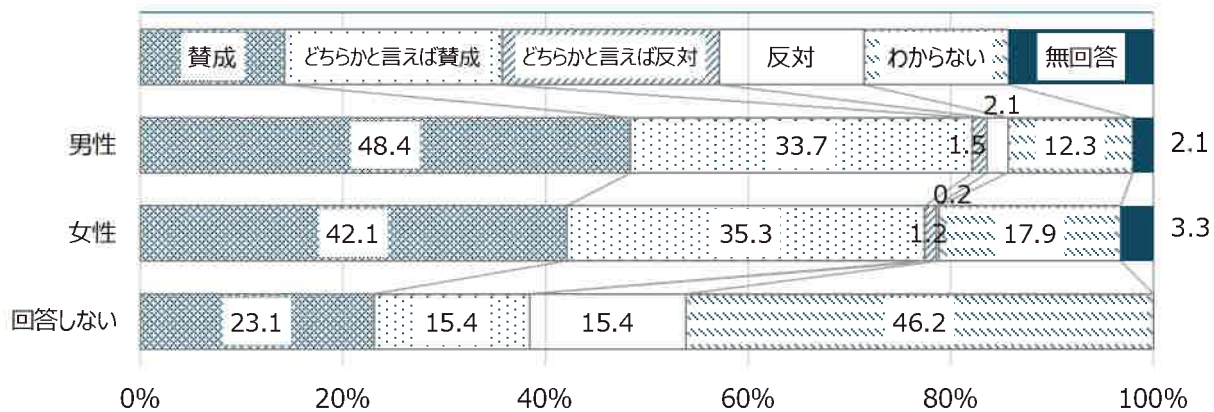
- ・ 県森林環境税を活用した事業については「賛成」44.5%、「どちらかといえば賛成」34.3%を合すると、78.8%が肯定的。
- ・ 年代別で見ると、20代は「わからない」も31.8%あり、他の年代と比べると高い。

単位:%

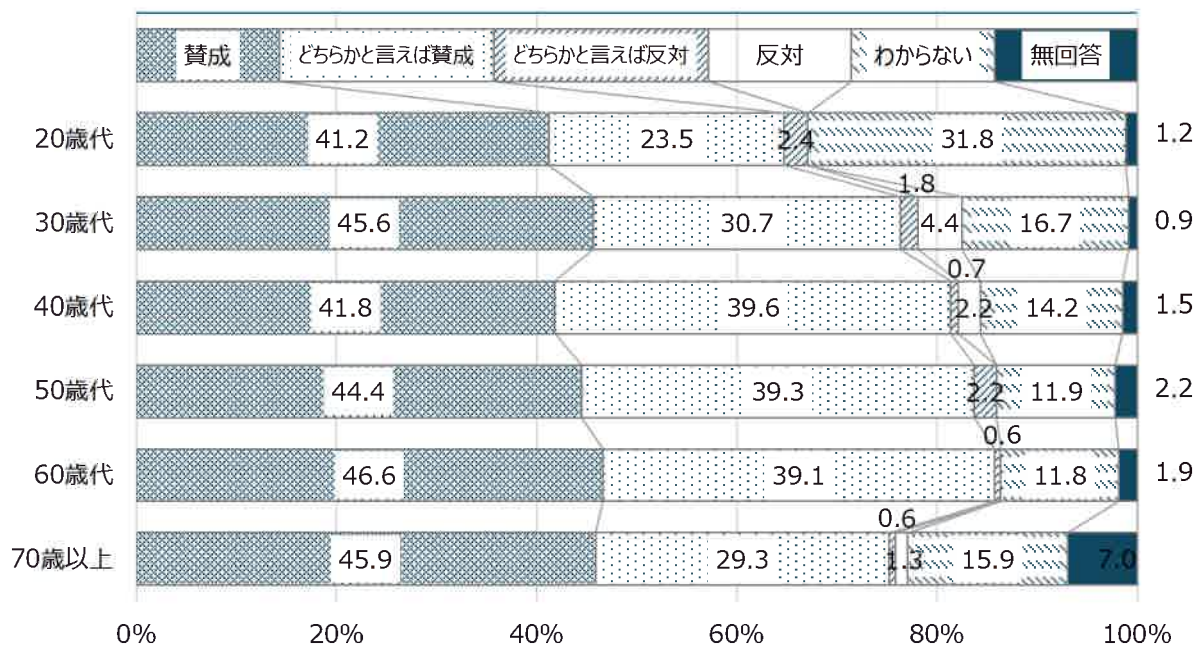
		サンプル数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答
全体		787	44.5	34.3	1.3	1.3	16.0	2.7
性別	男性	341	48.4	33.7	1.5	2.1	12.3	2.1
	女性	430	42.1	35.3	1.2	0.2	17.9	3.3
	回答しない	13	23.1	15.4	0.0	15.4	46.2	0.0
年齢	20歳代	85	41.2	23.5	2.4	0.0	31.8	1.2
	30歳代	114	45.6	30.7	1.8	4.4	16.7	0.9
	40歳代	134	41.8	39.6	0.7	2.2	14.2	1.5
	50歳代	135	44.4	39.3	2.2	0.0	11.9	2.2
	60歳代	161	46.6	39.1	0.6	0.0	11.8	1.9
	70歳以上	157	45.9	29.3	0.6	1.3	15.9	7.0
山林 所有状況	自ら所有している	57	50.9	35.1	1.8	0.0	10.5	1.8
	家族が所有している	166	51.2	30.7	0.6	0.6	13.3	3.6
	所有していない	515	43.3	36.3	1.6	1.6	15.3	1.9
	わからない	43	25.6	27.9	0.0	2.3	37.2	7.0



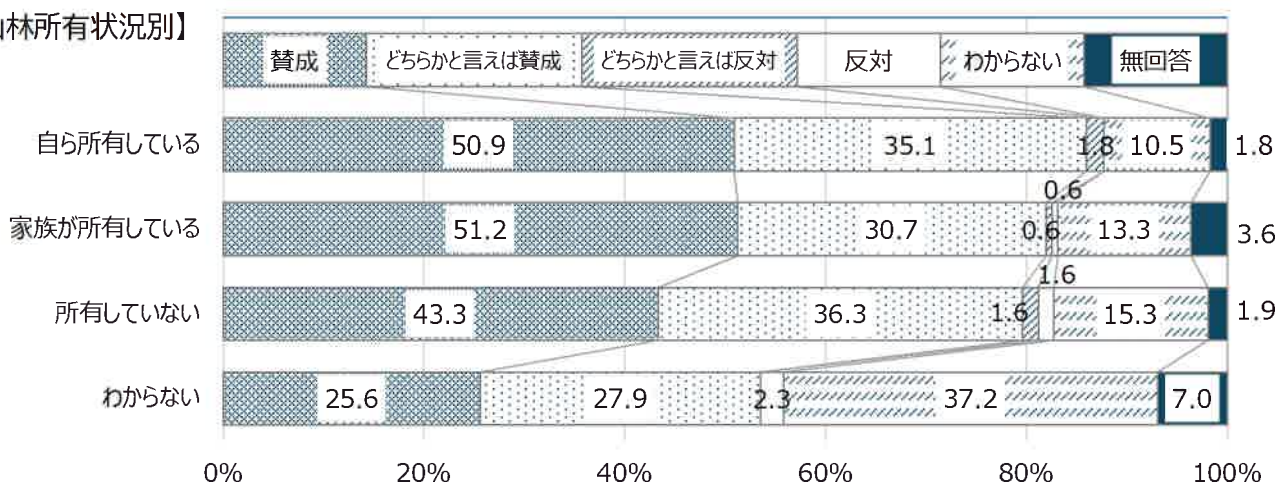
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問 8

大分県森林環境税の用途について、どのような取組に重点を置くべきだとお考えですか？

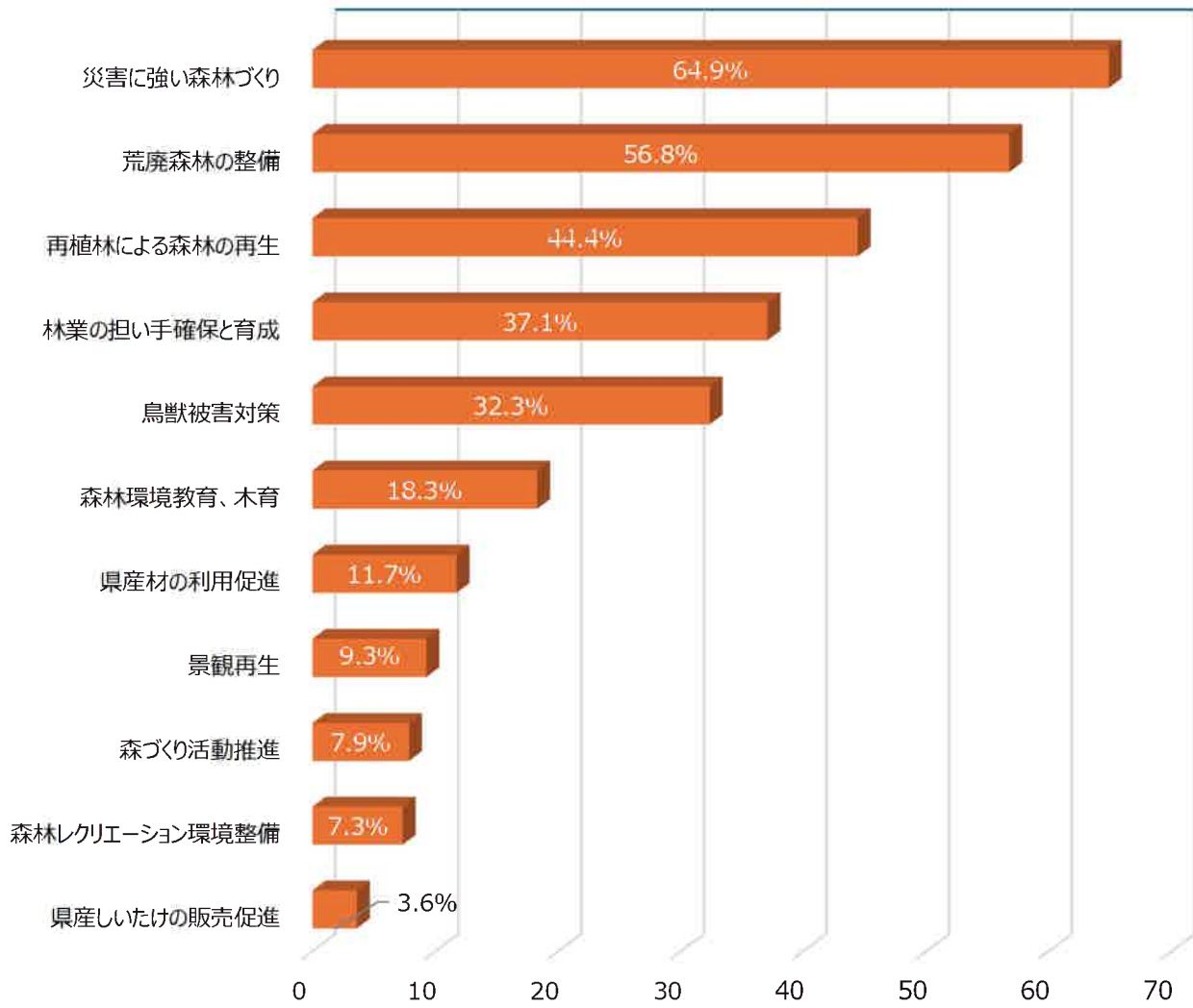
(上位3つを選択のこと)

県森林環境税の用途については、「災害に強い森林づくり」と「荒廃森林の整備」が性別、世代を問わず重点を置くべき取組と考えられている。

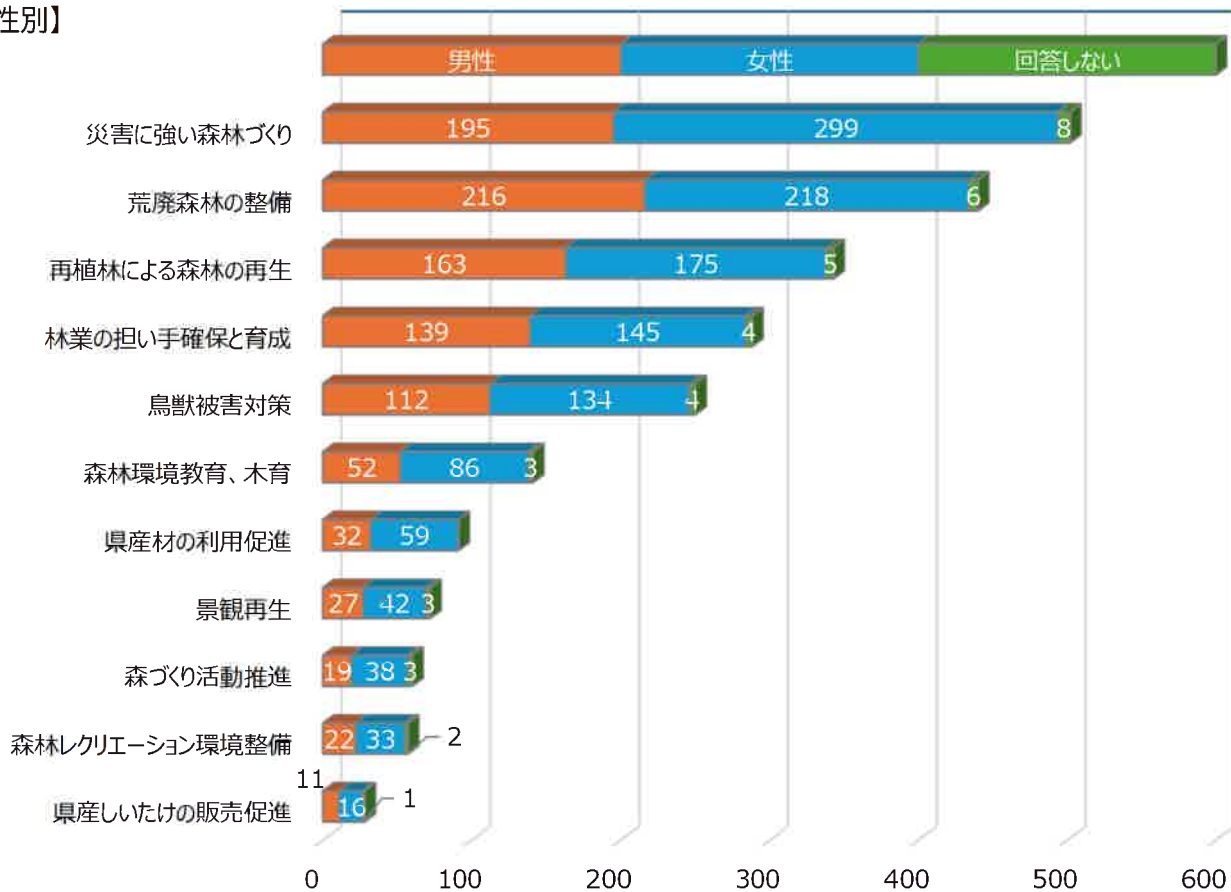
- ・ 県森林環境税の用途については、「災害に強い森林づくり」が 64.9%と最も多く、次いで「荒廃森林の整備」56.8%、「再植林による森林の再生」44.4%となっている。
- ・ 年代別でみると 20～40 代は、上記 2 つを特に重点的な取組と考えている割合が高いが、50 代、60 代は他の取組も重要と考えており、特に 60 代は、上記 2 つ以外にも、「再植林による森林の再生」「林業の担い手確保と育成」「鳥獣被害対策」を同程度の割合で重点を置くべき取組と考えている。

単位:%

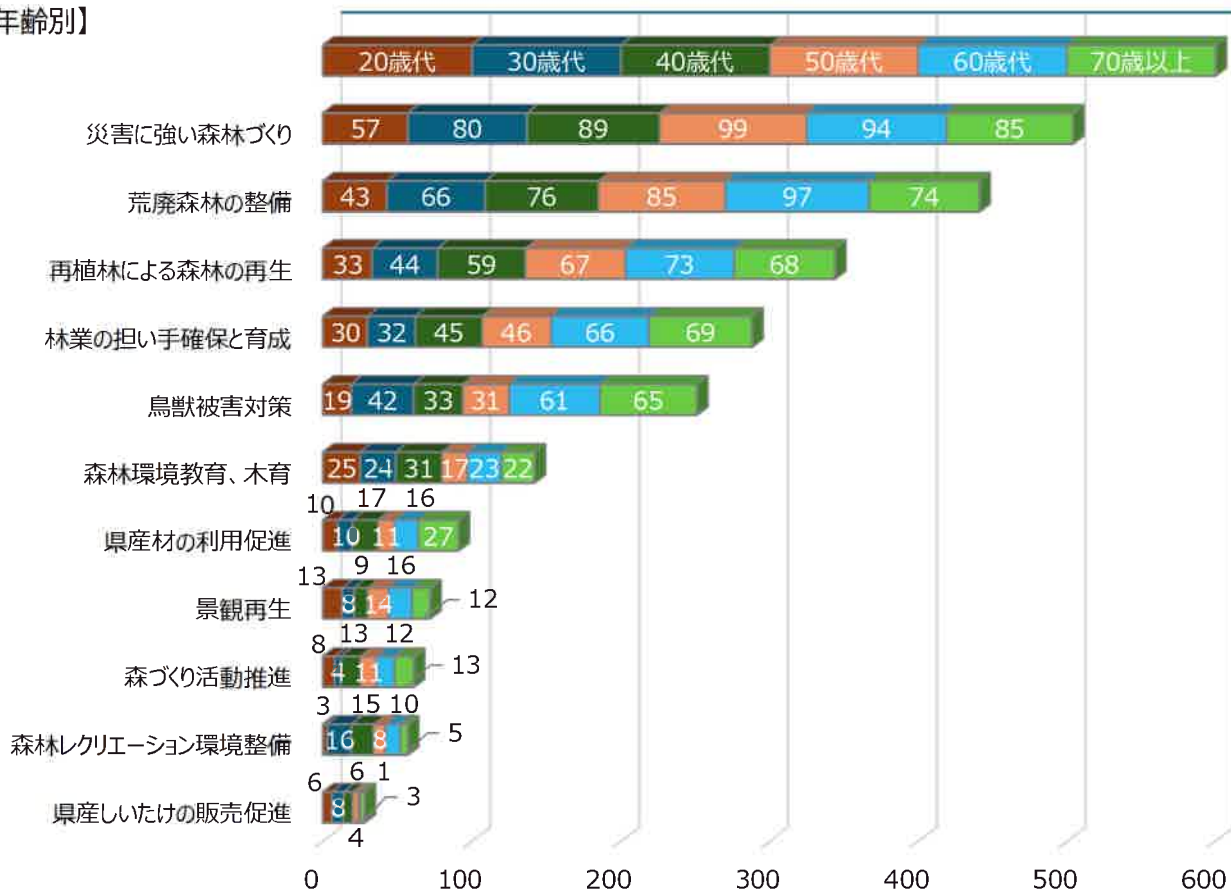
		サンプル数	災害に強い森林づくり	荒廃森林の整備	再植林による森林の再生	林業の担い手確保と育成	鳥獣被害対策	森林環境教育、木育	県産材の利用促進	景観再生	森づくり活動推進	森林レクリエーション環境整備	県産しいたけの販売促進
全体		777	64.9	56.8	44.4	37.1	32.3	18.3	11.7	9.3	7.9	7.3	3.6
性別	男性	338	57.7	63.9	48.2	41.1	33.1	15.4	9.5	8.0	5.6	6.5	3.3
	女性	423	70.7	51.5	41.4	34.3	31.7	20.3	13.9	9.9	9.0	7.8	3.8
	回答しない	13	61.5	46.2	38.5	30.8	30.8	23.1	0.0	23.1	23.1	15.4	7.7
年齢	20 歳代	84	67.9	51.2	39.3	35.7	22.6	29.8	11.9	15.5	9.5	3.6	7.1
	30 歳代	114	70.2	57.9	38.6	28.1	36.8	21.1	8.8	7.0	3.5	14.0	7.0
	40 歳代	132	67.4	57.6	44.7	34.1	25.0	23.5	12.9	6.8	9.8	11.4	4.5
	50 歳代	135	73.3	63.0	49.6	34.1	23.0	12.6	8.1	10.4	8.1	5.9	3.0
	60 歳代	159	59.1	61.0	45.9	41.5	38.4	14.5	10.1	10.1	7.5	6.3	0.6
	70 歳以上	152	55.9	48.7	44.7	45.4	42.8	14.5	17.8	7.9	8.6	3.3	2.0
山林 所有状況	自ら所有している	57	50.9	61.4	49.1	35.1	47.4	3.5	17.5	10.5	7.0	3.5	1.8
	家族が所有している	165	61.2	63.0	45.5	44.8	41.8	13.3	12.7	6.7	7.3	3.0	3.0
	所有していない	510	67.8	55.1	44.5	35.3	28.2	20.0	10.4	9.8	8.0	8.4	3.7
	わからない	41	63.4	46.3	31.7	31.7	26.8	36.6	17.1	12.2	4.9	17.1	7.3



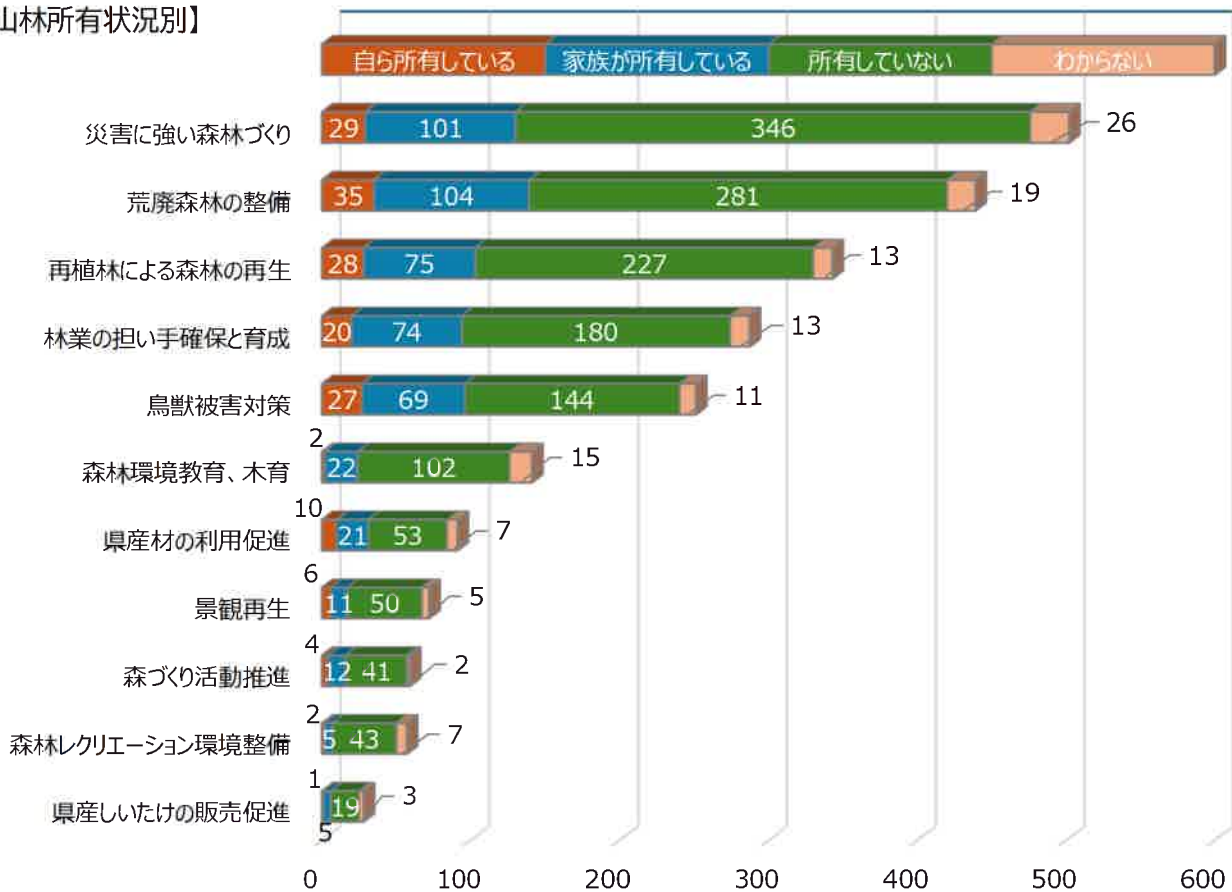
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問10

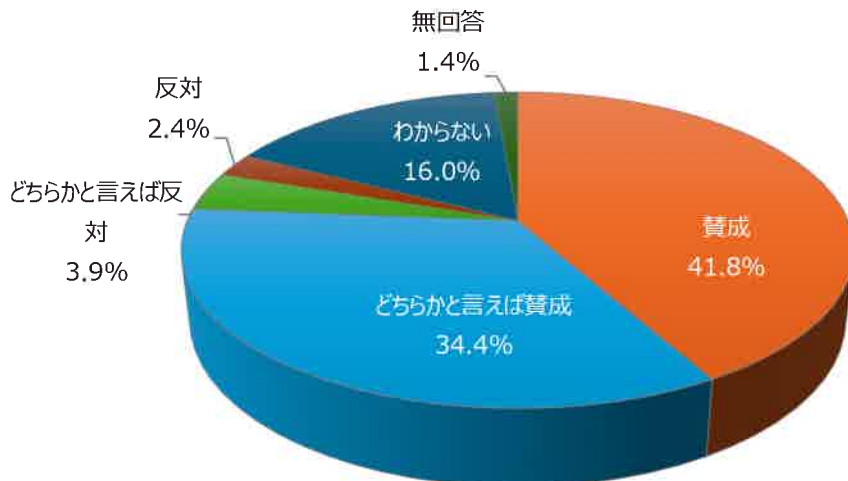
県森林環境税は、5年ごとに見直しを行っており、令和7年度末に見直しの時期をむかえますが、令和8年4月以降の継続について、どのようにお考えですか？

県森林環境税の継続については、76%が賛成。「わからない」は16%。

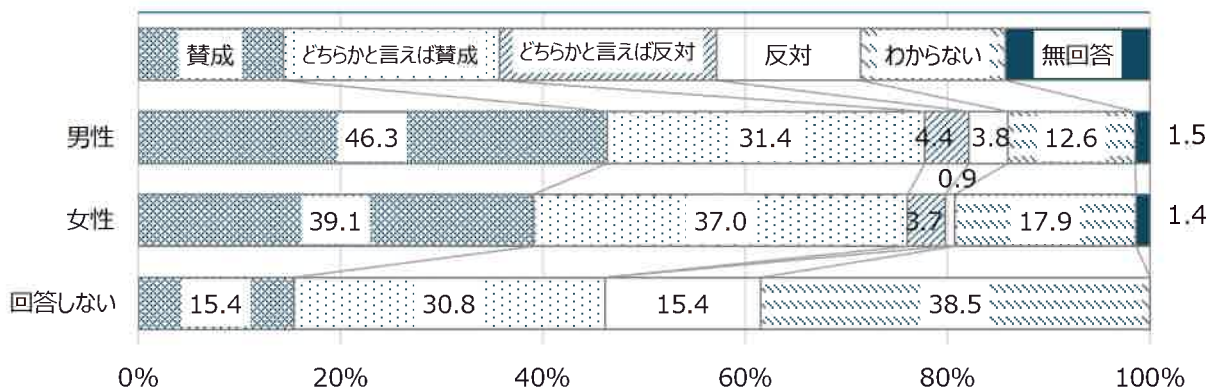
- ・ 県森林環境税の令和8年度以降の継続については、「賛成」41.8%、「どちらかと言えば賛成」も34.4%で、合せて76.2%が継続に肯定的。「どちらかと言えば反対」「反対」は6.3%に留まる。「わからない」は16.0%である。
- ・ 年代別でみると、20代は「わからない」が24.7%あり、他の世代に比べて高い。

単位:%

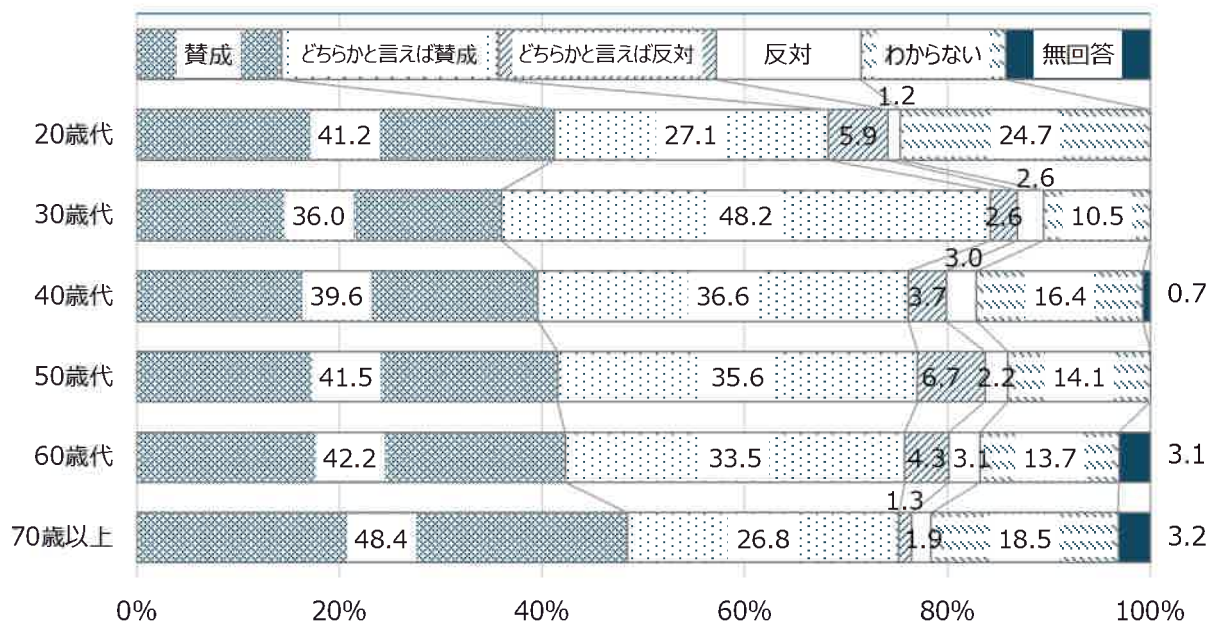
		サンプル数	賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	反対	わからない	無回答
全体		787	41.8	34.4	3.9	2.4	16.0	1.4
性別	男性	341	46.3	31.4	4.4	3.8	12.6	1.5
	女性	430	39.1	37.0	3.7	0.9	17.9	1.4
	回答しない	13	15.4	30.8	0.0	15.4	38.5	0.0
年齢	20歳代	85	41.2	27.1	5.9	1.2	24.7	0.0
	30歳代	114	36.0	48.2	2.6	2.6	10.5	0.0
	40歳代	134	39.6	36.6	3.7	3.0	16.4	0.7
	50歳代	135	41.5	35.6	6.7	2.2	14.1	0.0
	60歳代	161	42.2	33.5	4.3	3.1	13.7	3.1
	70歳以上	157	48.4	26.8	1.3	1.9	18.5	3.2
山林 所有状況	自ら所有している	57	54.4	22.8	0.0	5.3	12.3	5.3
	家族が所有している	166	46.4	32.5	4.8	0.6	14.5	1.2
	所有していない	515	40.0	36.3	4.1	2.9	15.7	1.0
	わからない	43	27.9	39.5	4.7	0.0	25.6	2.3



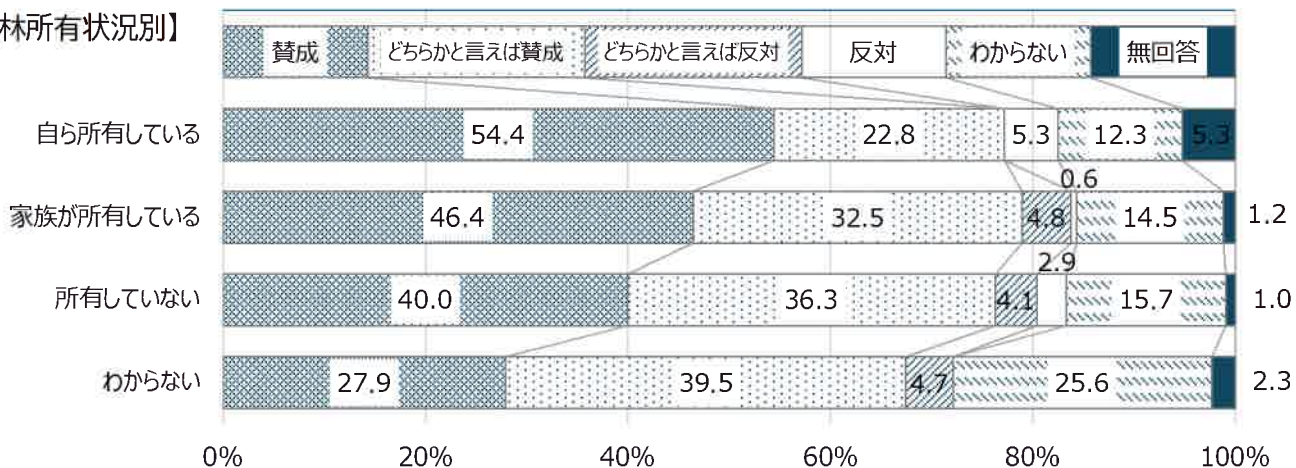
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



問 11

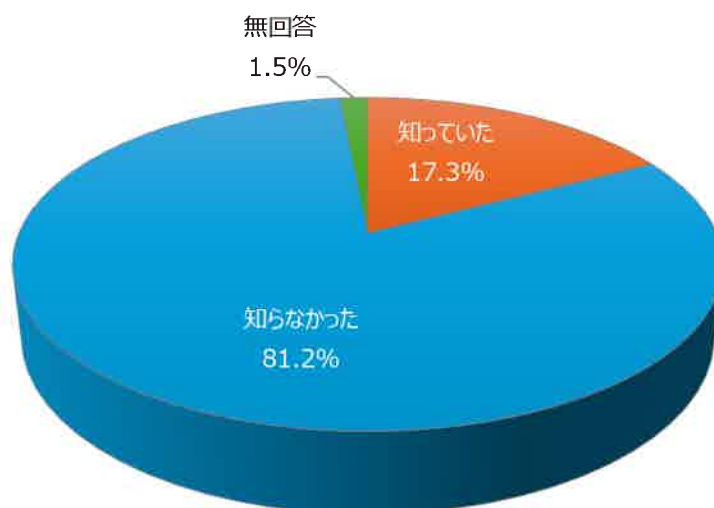
国では、令和6年度から、経営放棄された森林の整備などを推進するための新たな財源として「森林環境税」の徴収を始めました。市町村では、この税を活用し、森林整備、林業従事者の確保・育成等に活用しています。国の「森林環境税」を知っていましたか？

国の森林環境税については、「知っていた」が17%、県税よりもさらに認知度が低い。

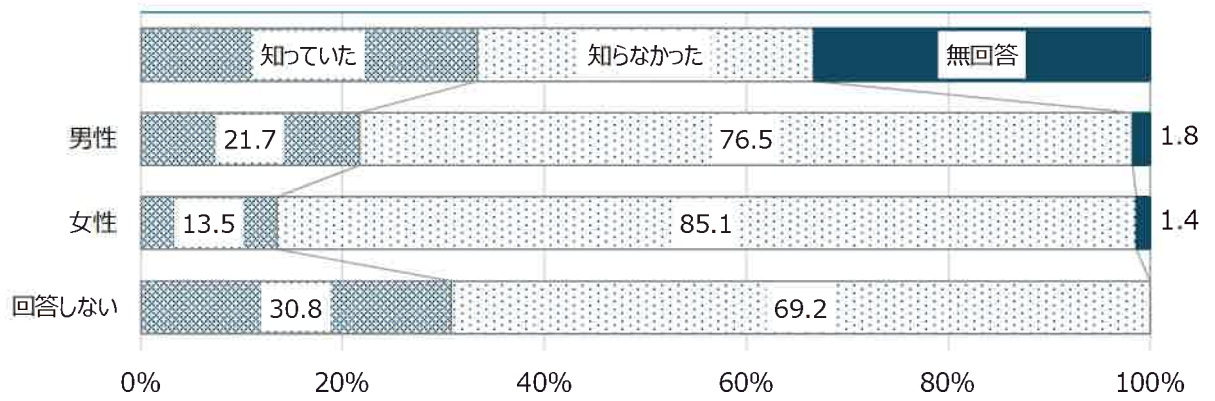
- ・ 国の森林環境税については、「知っていた」17.3%に対し、「知らなかった」が81.2%。
- ・ 男性（「知っていた」21.7%）に比べ、女性の方が認知度が低く、「知っていた」は13.5%に留まる。

単位:%

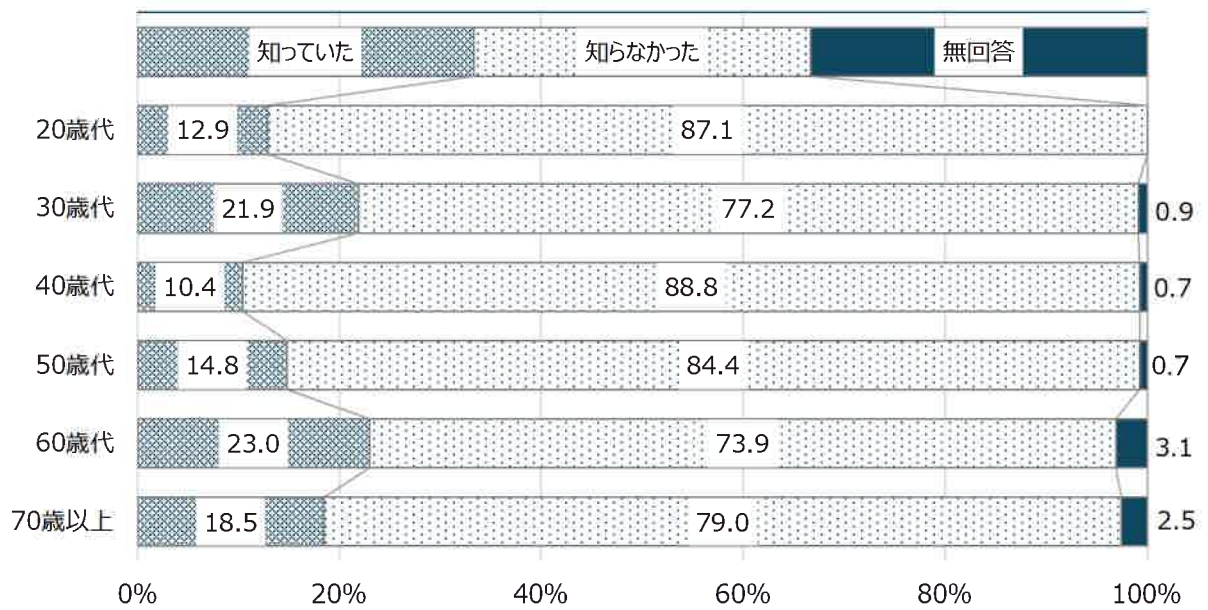
		サンプル数	知っていた	知らなかった	無回答
全体		787	17.3	81.2	1.5
性別	男性	341	21.7	76.5	1.8
	女性	430	13.5	85.1	1.4
	回答しない	13	30.8	69.2	0.0
年齢	20歳代	85	12.9	87.1	0.0
	30歳代	114	21.9	77.2	0.9
	40歳代	134	10.4	88.8	0.7
	50歳代	135	14.8	84.4	0.7
	60歳代	161	23.0	73.9	3.1
	70歳以上	157	18.5	79.0	2.5
山林 所有状況	自ら所有している	57	22.8	70.2	7.0
	家族が所有している	166	22.9	75.9	1.2
	所有していない	515	15.3	83.7	1.0
	わからない	43	14.0	83.7	2.3



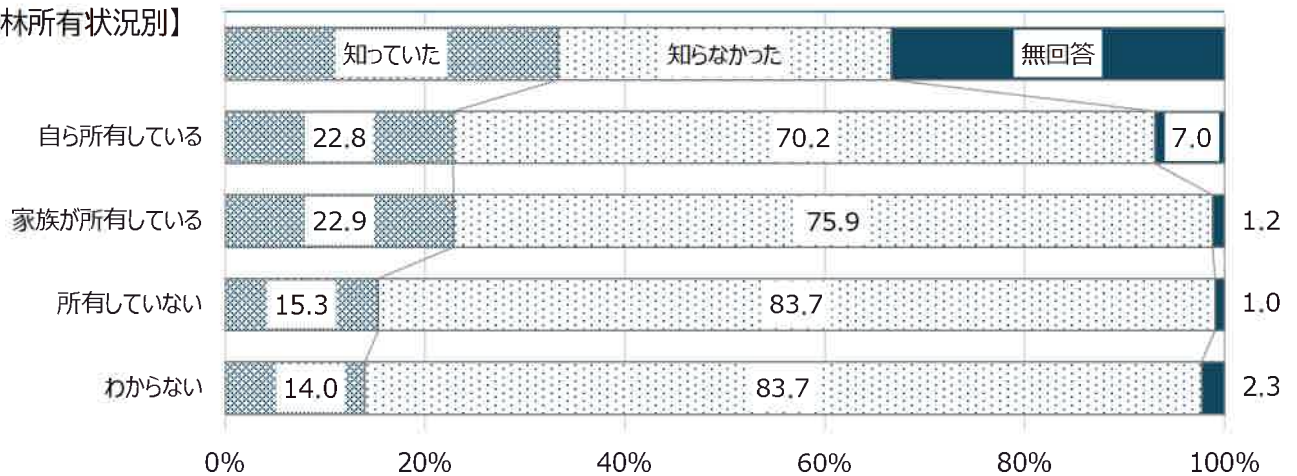
【性別】



【年齢別】



【山林所有状況別】



Ⅲ 資料 アンケート調査票

県民の皆様へ

「**大分県森林環境税**」に関する調査にご協力をお願いします
(令和6年度 大分県森林環境税に関する意識調査)



大分県森林づくり
マスコットキャラクター もりりん

日頃から、県政の推進にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

大分県では、「森林の保全」と「森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成」のため、平成18年度に「大分県森林環境税」を導入しました。

大分の豊かな森林と木のある暮らしを次世代に引き継ぐため、税のあり方や用途について、県民の皆様の思いや考えを十分に反映したいと考えており、その基礎資料とするため、この度アンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、大分県内にお住まいの満20歳以上の方を対象に2千名を無作為に選ばせていただきました。

このアンケート調査が届いた皆様には、ぜひともご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和6年8月

大分県農林水産部森との共生推進室

【調査回答方法】(回答目安時間:5分程度)

調査の回答方法は、下記の2つの方法から1つをお選びいただけます。

①スマートフォン、タブレット、パソコンからインターネットで回答する。

下記2次元コード、もしくはURLからご回答ください。

<2次元コード>



<URL>

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd8F2y0y-49DegxCsrhbN2n64FrYxkGvBFE1F0z_fL0NbMDhA/viewform

②調査票(紙)に回答を記入し、同封の封筒で郵送する(切手不要)。

【回答期限】

令和6年9月20日(金)までに回答いただきますようお願いいたします。

この調査は、大分県が(株)マイダスコミュニケーションに委託して実施しています。

【お問い合わせ先】

<調査の趣旨について>

大分県 農林水産部 森との共生推進室
担当:玉田
Tel:097-506-3872

<調査票の記入方法等について>

(株)マイダスコミュニケーション
担当:竹中・小野
Tel:097-536-2677

【「大分県森林環境税」に関する意識調査】

◆最初に、あなたご自身についておたずねします。

該当する番号に○を付けてください。その他の場合は()内にご記入ください。

(1)性別

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

(2)年齢

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

(3)職種

1. 会社員 2. 公務員 3. 農業
4. 林業 5. 水産業 6. 自営業(農林水産業以外)
7. 学生 8. 専業主婦・主夫 9. その他()

(4)お住まいの市町村名

1. 大分市 2. 別府市 3. 中津市 4. 日田市 5. 佐伯市
6. 杵築市 7. 津久見市 8. 竹田市 9. 豊後高田市 10. 杵築市
11. 宇佐市 12. 豊後大野市 13. 由布市 14. 国東市 15. 姫島村
16. 日出町 17. 九重町 18. 玖珠町

(5)あなた(家族を含む)は、山林を所有していますか？

1. 自ら山林を所有している
2. 家族が山林を所有している
3. 山林を所有していない
4. わからない

該当する番号に○を付けてください。その他の場合は()内にご記入ください。(全12問です)

(問1)大分県内の森林の一部では、森林の手入れ不足により、森林の水源かん養(雨水を蓄え、少しずつ流れ出すことで、洪水や濁水を緩和し、水質を浄化すること)、土砂流出や山腹崩壊の防止など、森林の持つ公益的機能(私たちの社会全体に有益な影響を及ぼす機能)が低下している事例があります。こうした森林の現状をご存じでしたか？

1. ほぼ知っていた 2. 大体知っていた 3. あまり知らなかった 4. 全く知らなかった

(問2)大分県では、平成18年度から森林環境税を導入していることをご存じでしたか？

1. 知っていた 2. 知らなかった

(問3)問2で①「知っていた」とお答えいただいた方について、大分県森林環境税を、何でお知りになりましたか？(複数回答可)

1. 県の広報誌 2. 市町村の広報誌 3. 新聞記事
4. チラシ、パンフレット 5. 県のホームページ 6. 納税通知書
7. テレビ、ラジオ 8. 看板、のぼり 9. 知人などから

10. 大分県森林環境税を活用した取組に参加したことがある

11. その他()

(問4-①)

大分県森林環境税として、個人から年間500円(個人県民税均等割額に加算)納めていただいていることをご存じでしたか？

1. 知っていた 2. 知らなかった

(問4-②)

大分県森林環境税として、法人(企業)から法人県民税の5%(年間1,000円~40,000円)を納めていただいていることをご存じでしたか？

1. 知っていた 2. 知らなかった

(問5-①)

大分県森林環境税のうち、個人からの年間500円についてどのように感じますか？

1. 高い 2. 妥当な額である 3. 低い

(問5-②)

大分県森林環境税のうち、法人(企業)からの年間1,000円~40,000円についてどのように感じますか？

1. 高い 2. 妥当な額である 3. 低い

(問6)大分県森林環境税を活用した事業をご存じでしたか？

1. ほぼ知っていた 2. 大体知っていた 3. あまり知らなかった 4. 全く知らなかった

(問7)大分県森林環境税を活用した事業について、どのようにお考えですか？

(県森林環境税活用事業については、同封のパンフレット p.6~7を参考にご覧ください。)

1. 賛成 2. どちらかと言えば賛成
3. どちらかと言えば反対 4. 反対 5. わからない

(問8)大分県森林環境税の用途について、どのような取組に重点を置くべきだとお考えですか？

(上位3つを選択のこと)

1. 荒廃森林(間伐されず下草が生えていない林、放置された竹林)の整備
2. 災害に強い森林づくり(河川沿いの流木対策など)
3. 伐採後に再度植林することによる、森林の再生

4. シカ、イノシシ等の鳥獣被害対策
5. 県産材の利用促進(公共施設等の木造化、壁・床などの内装の木質化)
6. 大分県産しいたけの販売促進
7. 林業の担い手確保と育成
8. 森林ボランティア・NPO等による森づくり活動の推進
9. 子ども達への森林環境教育や木育(木材利用に関する教育活動)の推進
10. 景観を妨げる木の伐採等による景勝地、観光地の景観再生
11. 森林レクリエーション機能の向上を目的とした環境整備(森林公園内の施設等の整備)

(問9)問8のほか、今後、大分県森林環境税を活用した方がよいと思う取組を教えてください。

(問10)県森林環境税は、5年ごとに見直しを行っており、令和7年度末に見直しの時期をむかえますが、令和8年4月以降の継続について、どのようにお考えですか？

1. 賛成
2. どちらかと言えば賛成
3. どちらかと言えば反対
4. 反対
5. わからない

(問11)国では、令和6年度から、経営放棄された森林の整備などを推進するための新たな財源として「森林環境税」の徴収を始めました。

市町村では、この税を活用し、森林整備、林業従事者の確保・育成等に活用しています。

国の「森林環境税」を知っていましたか？

1. 知っていた
2. 知らなかった

(問12)その他、大分県森林環境税についてご意見があればご記入ください。

以上です。ご協力ありがとうございました。